

令和6年度男女共同参画推進市民意識調査報告

1 実施概要

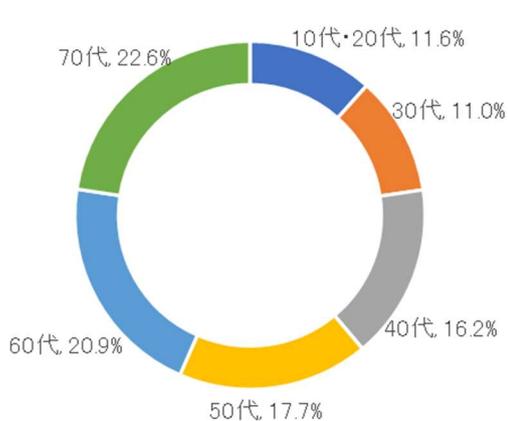
- ・ 対象 18歳以上80歳未満の市民を対象に、性別、年代ごとに住民基本台帳登録者数の2%を無作為抽出
- ・ 対象者数 1,558人
- ・ 回答方法 郵送またはWEBフォームによる回答
- ・ 実施期間 令和7年2月14日～3月7日
- ・ 回答者数 503人
- ・ 回答率 32.3%（前年度比1.6ポイント↑）

※1 各項目で使用した全国の数値は、令和6年9月に実施された「男女共同参画社会に関する世論調査」（内閣府）を参照した。

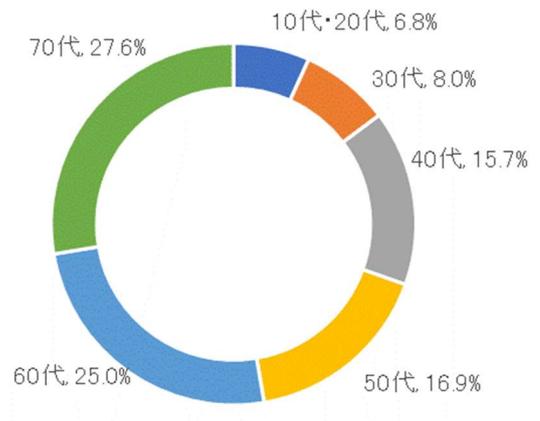
※2 各設問における回答割合の計は、端数処理又は複数回答の影響で100%にならないことがある。

2 対象者数、回答数、回答率

年齢	対象者数				回答数						回答率
	男	女	合計	割合	男	女	その他	答えたくない	合計	割合	
10代・20代	95	86	181	11.6%	11	23			34	6.8%	18.8%
30代	92	80	172	11.0%	16	23	1		40	8.0%	23.3%
40代	132	121	253	16.2%	36	43			79	15.7%	31.2%
50代	140	135	275	17.7%	38	45	1	1	85	16.9%	30.9%
60代	163	162	325	20.9%	52	72		2	126	25.0%	38.8%
70代	172	180	352	22.6%	74	65			139	27.6%	39.5%
計	794	764	1,558		227	271	2	3	503		32.3%



対象者割合

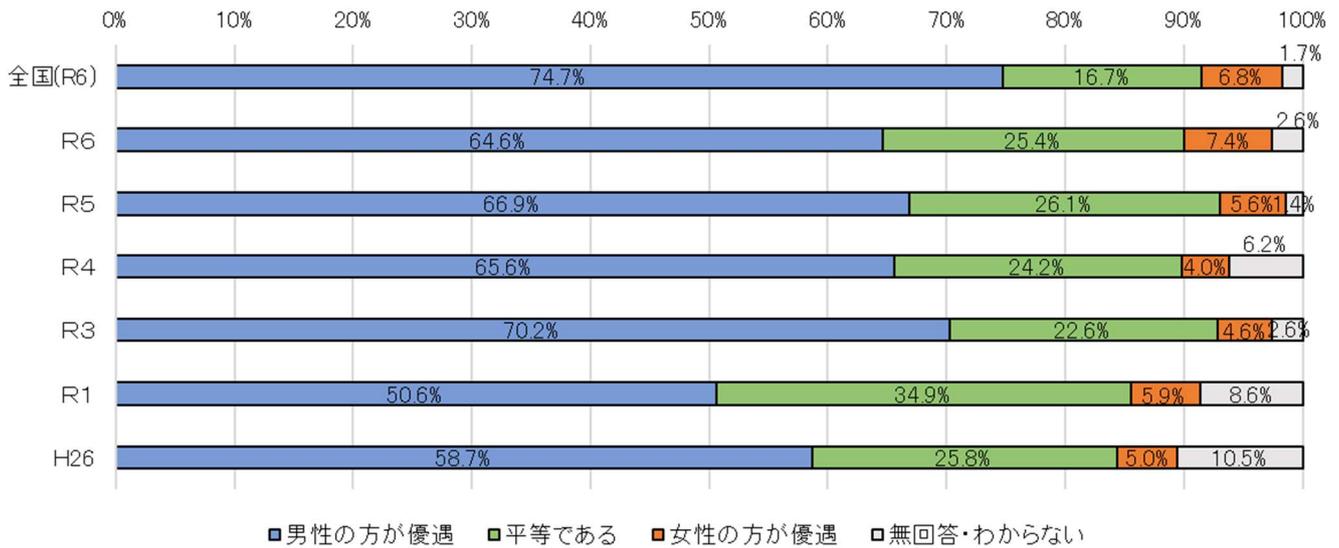
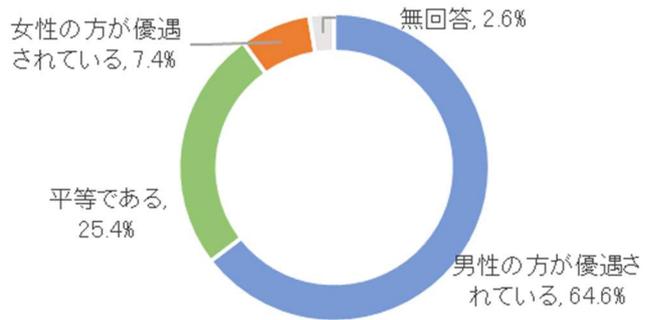


回答割合

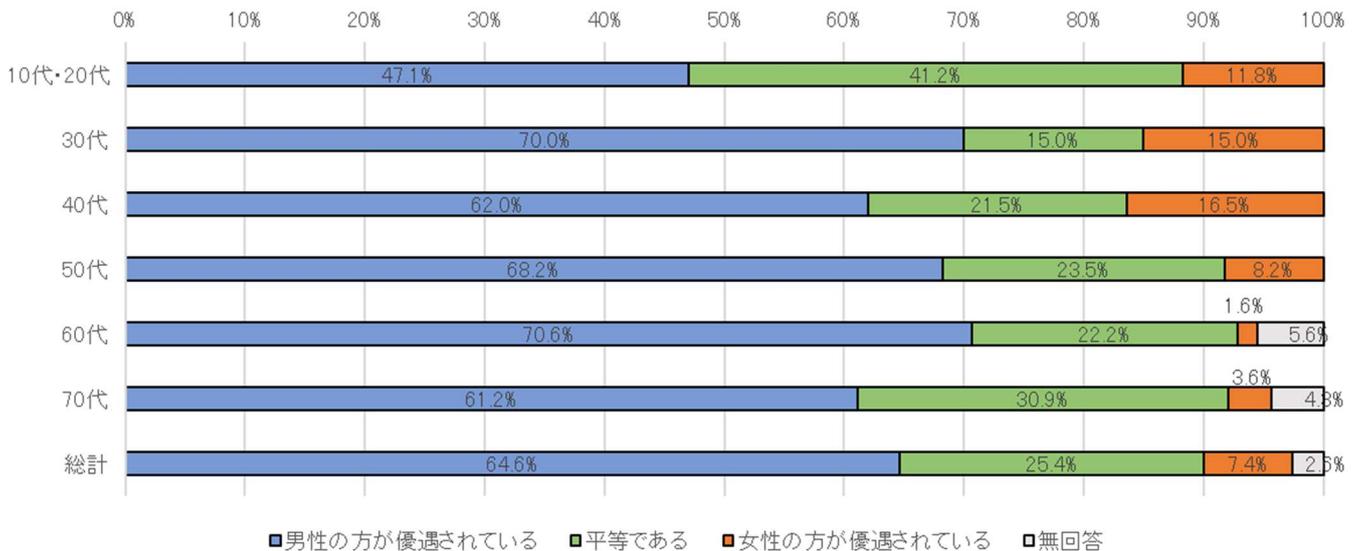
- 回答率は、年代が上がるにつれて上昇しています。
- 回答数は、60代と70代が、全体の52.6%を占めています。

設問1 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	325	64.6%
平等である	128	25.4%
女性の方が優遇されている	37	7.4%
無回答・わからない	13	2.6%
全体	503	100.0%



○ 年代による比較



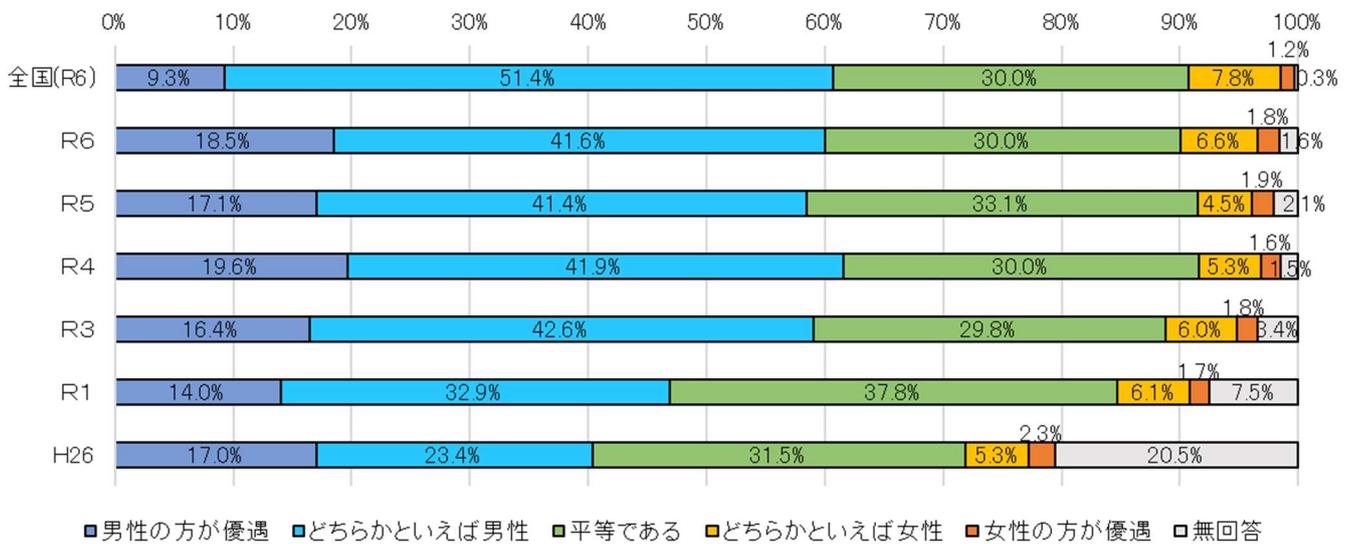
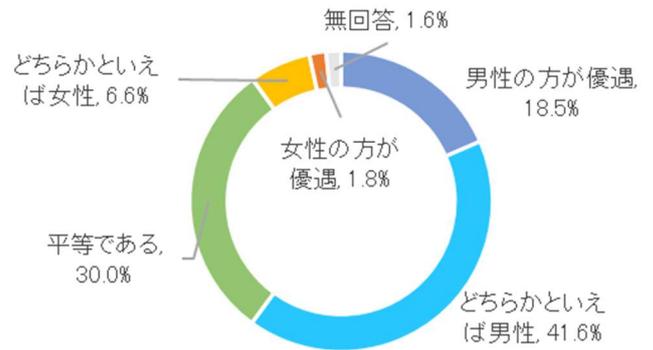
○ 全体では、「平等である」の割合が25.4%と、令和5年度に実施した前回調査（以下、「前回調査」という。）から0.7ポイント減少したものの、全国調査を8.7ポイント上回っています。

○ 年代別では、「平等である」の割合が最も高い10代・20代で41.2%、最も低い30代で15.0%と、26.2ポイントもの開きがあります。

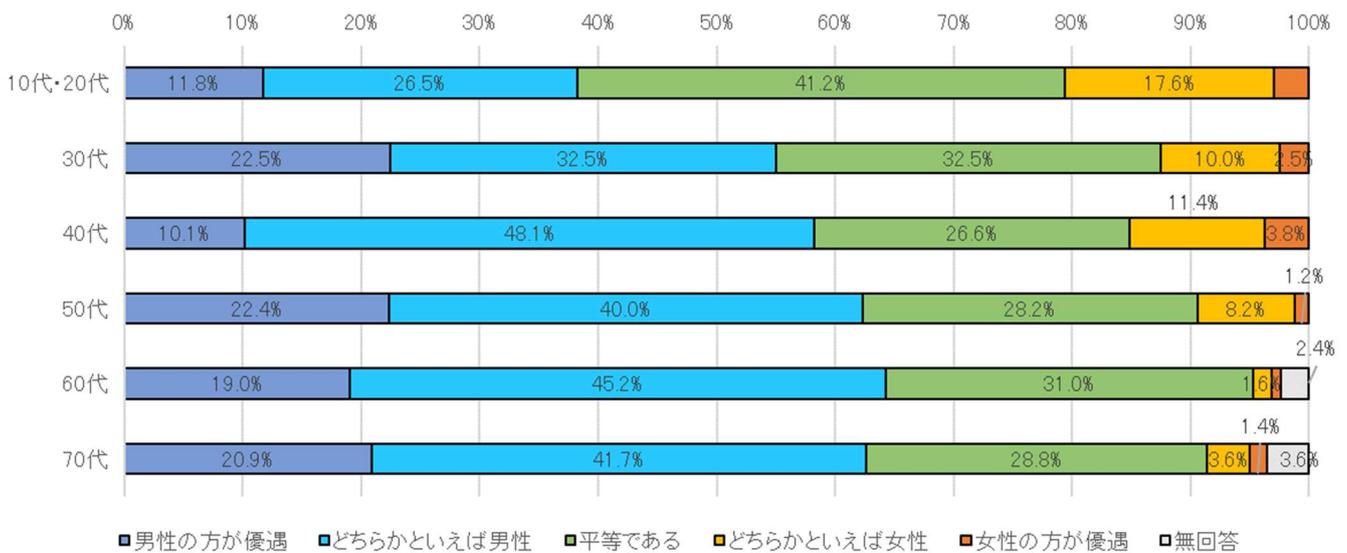
設問2 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。(1つ選択)

① 家庭生活

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	93	18.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	209	41.6%
平等である	151	30.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	33	6.6%
女性の方が優遇されている	9	1.8%
無回答	8	1.6%
合計	503	100%



○ 年代による比較

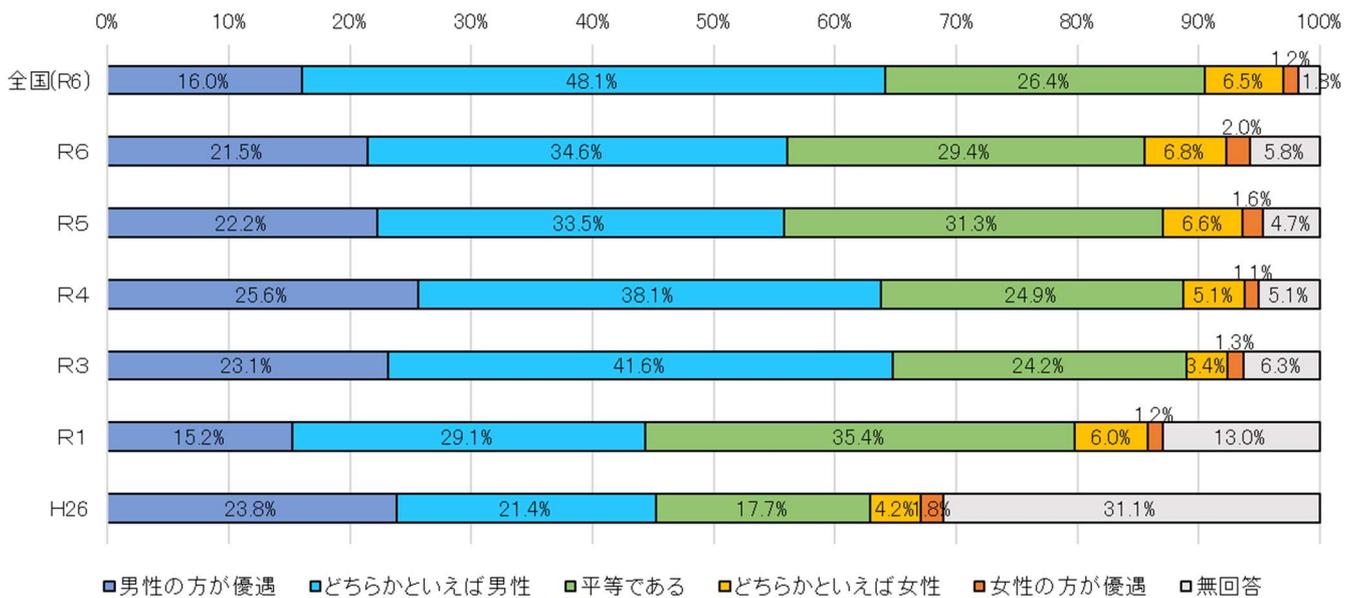
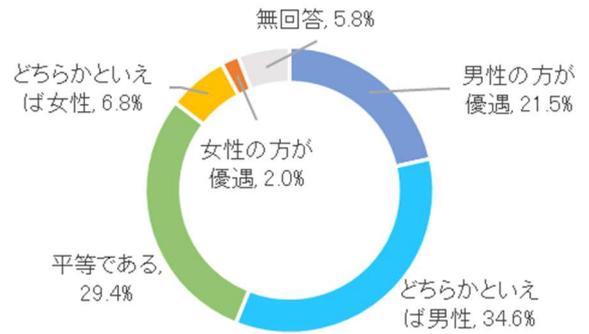


- 全体では「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が、6割を超えています。
- 年代別では、「平等である」の割合は、10代・20代が41.2%で最大、40代が26.6%で最小になっています。

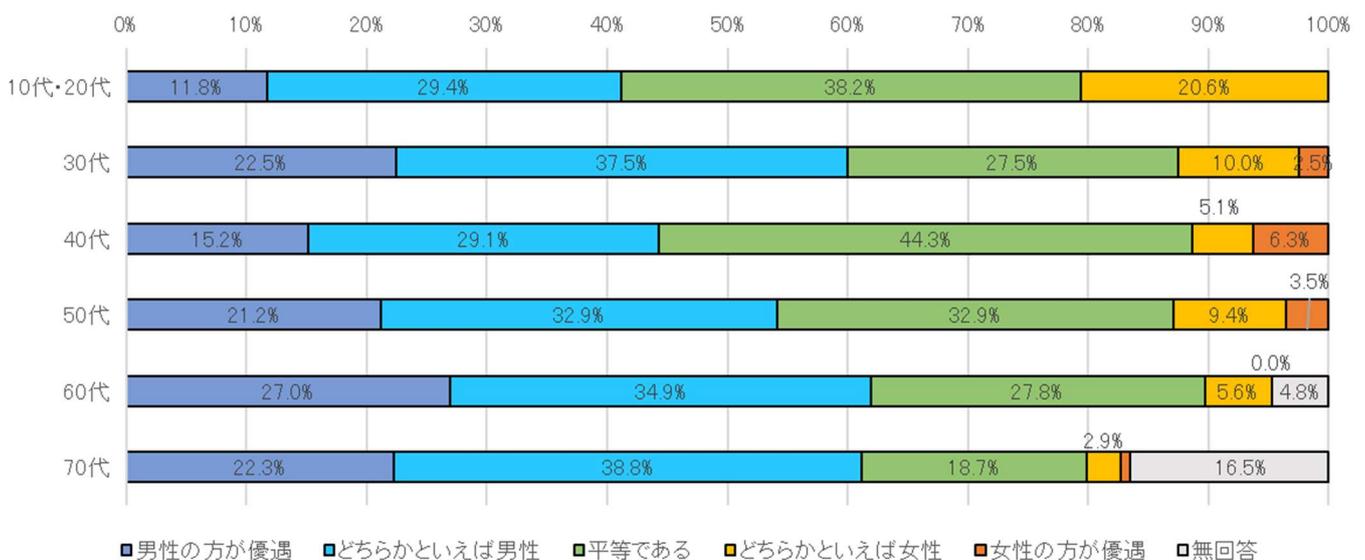
設問 2

② 職場

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	108	21.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	174	34.6%
平等である	148	29.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	34	6.8%
女性の方が優遇されている	10	2.0%
無回答	29	5.8%
合計	503	100.0%



○ 年代による比較



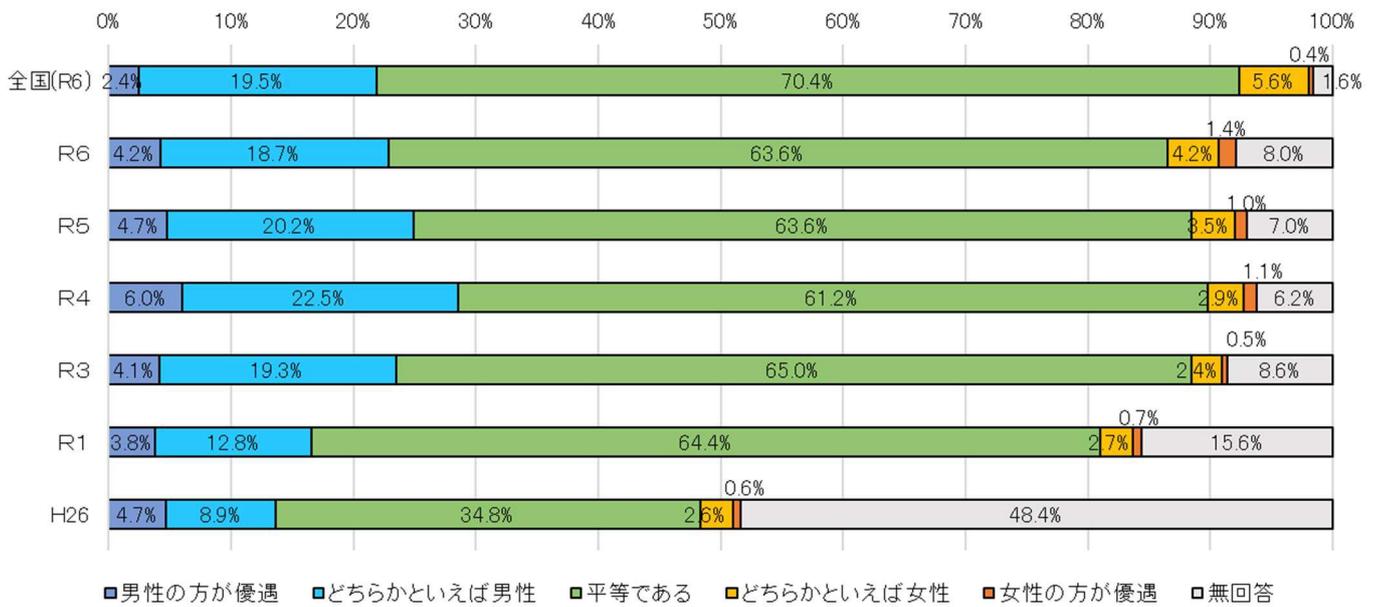
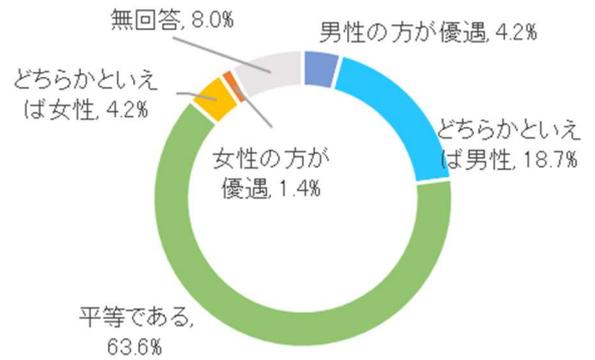
○ 全体では、「平等である」の割合が 29.4%と、前回調査から 1.9 ポイント減少したものの、全国調査を 3.0 ポイント上回っています。

○ 年代別では、「平等である」の割合は、40代が 44.3%で最大、70代が 18.7%で最小となっています。

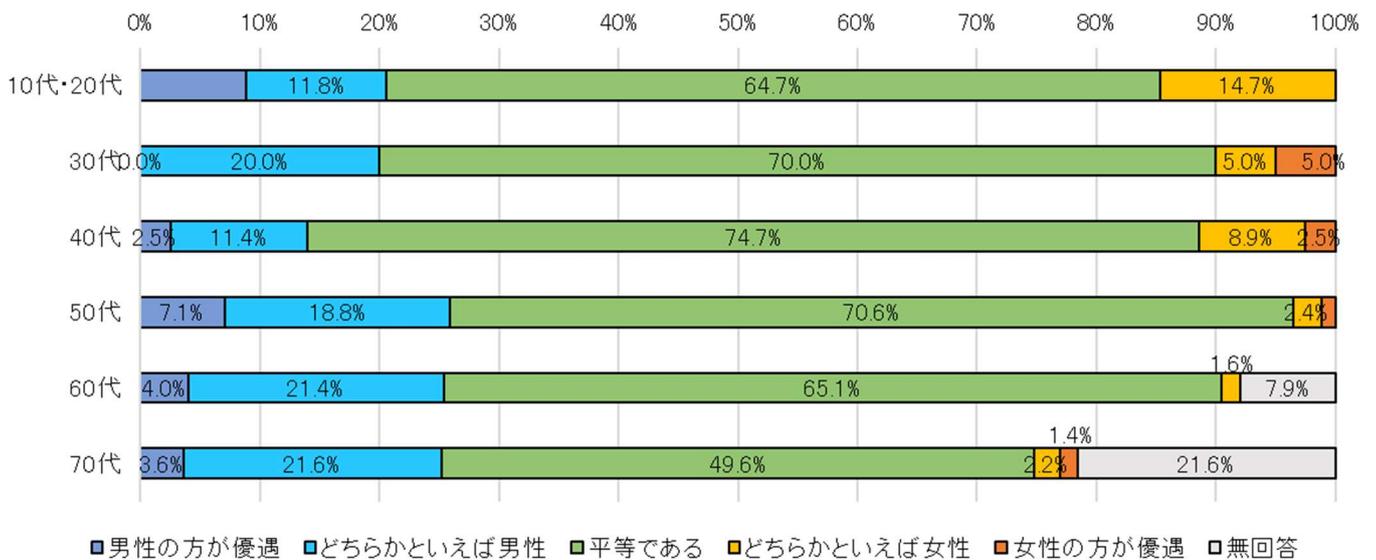
設問2

③ 学校教育の場

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	21	4.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	94	18.7%
平等である	320	63.6%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	21	4.2%
女性の方が優遇されている	7	1.4%
無回答	40	8.0%
合計	503	100%



○ 年代による比較



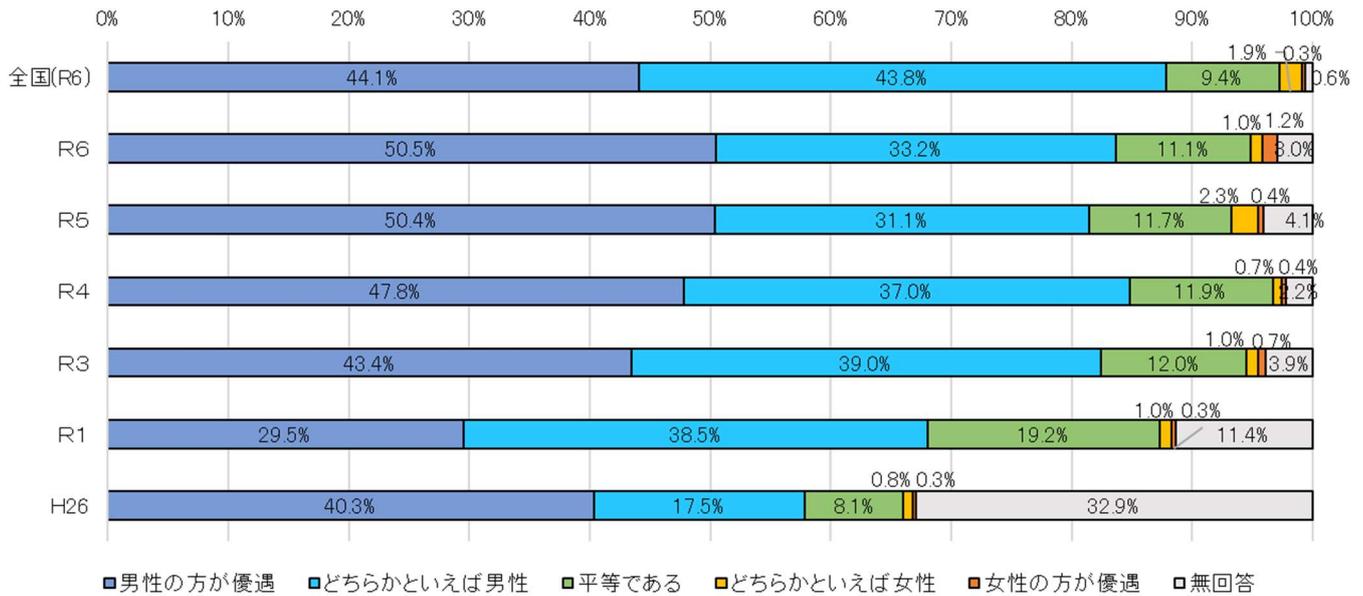
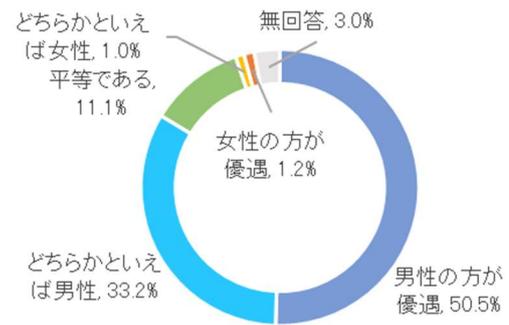
○ 全体では、「平等である」の割合が63.6%と、全国調査より6.8ポイント下回っています。

○ 年代別では、全年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。

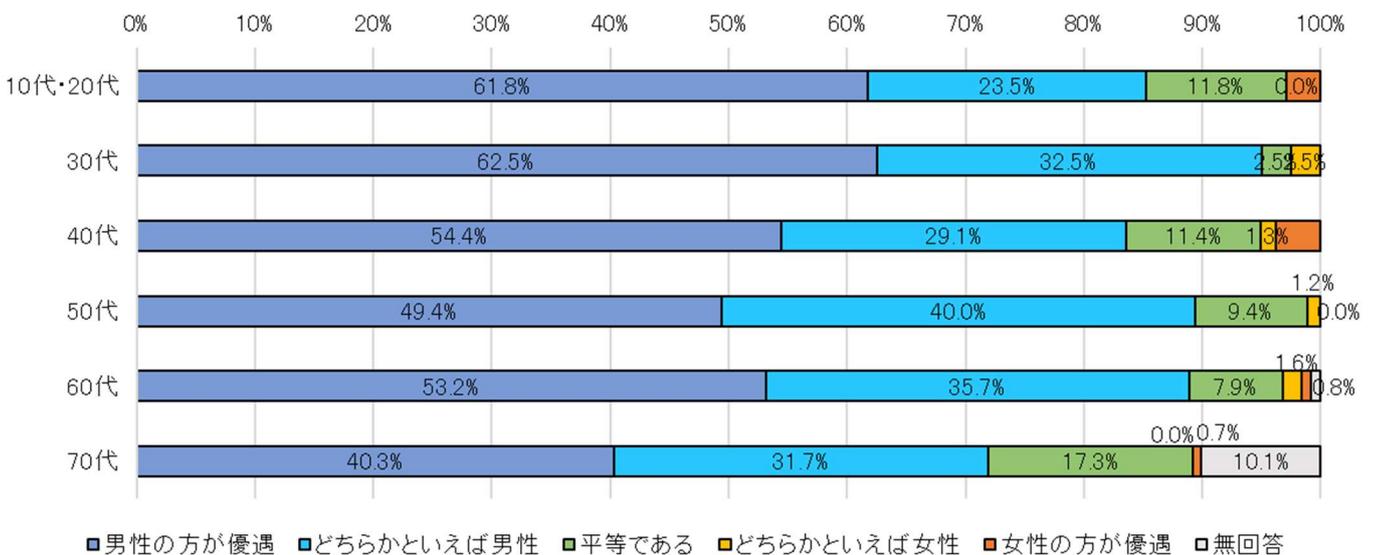
設問2

④ 政治の場

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	254	50.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	167	33.2%
平等である	56	11.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5	1.0%
女性の方が優遇されている	6	1.2%
無回答	15	3.0%
合計	503	100%



○ 年代による比較



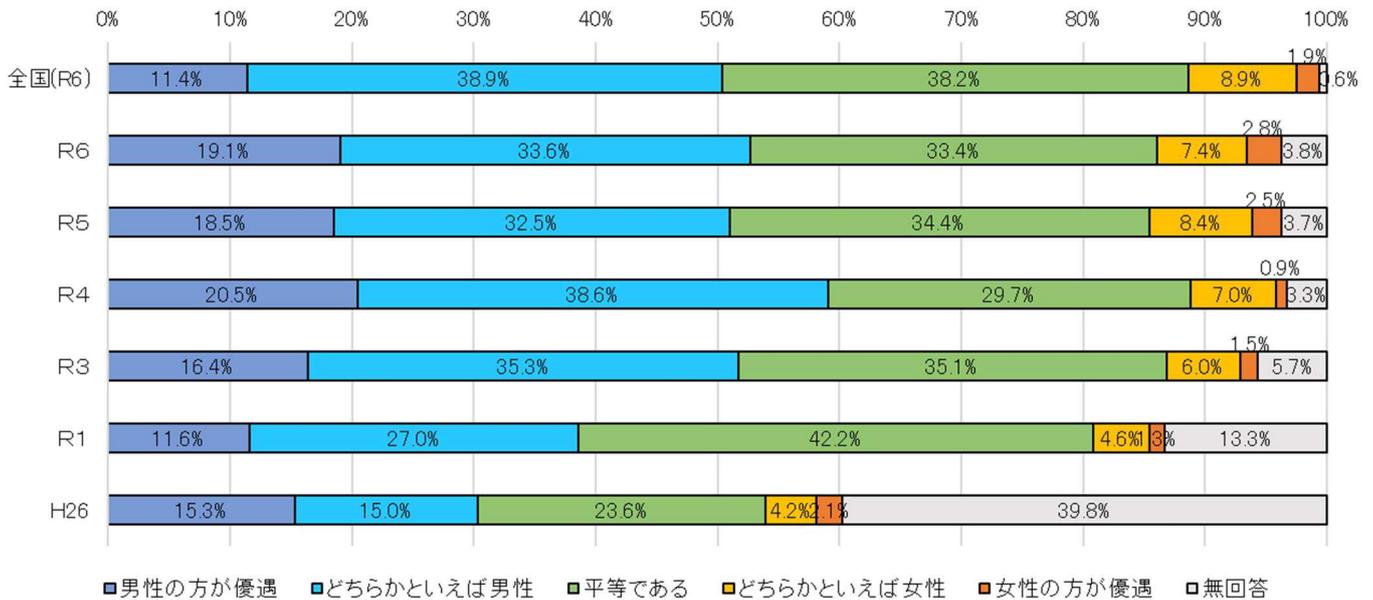
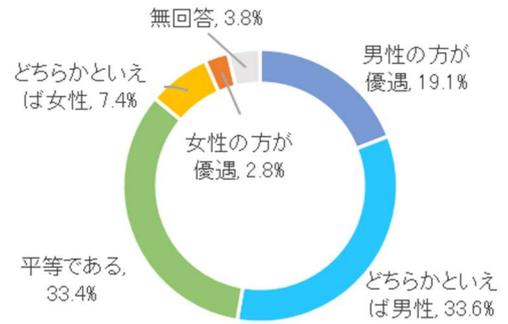
○ 全体では、「平等である」の割合が 11.1%と前回調査から横ばいとなり、「男性の方が優遇されている」及び「どちらかというとも男性の方が優遇されている」の割合も、前回調査と同様に8割を超えています。

○ 年代別に見ても、全年代において「男性の方が優遇されている」及び「どちらかというとも男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

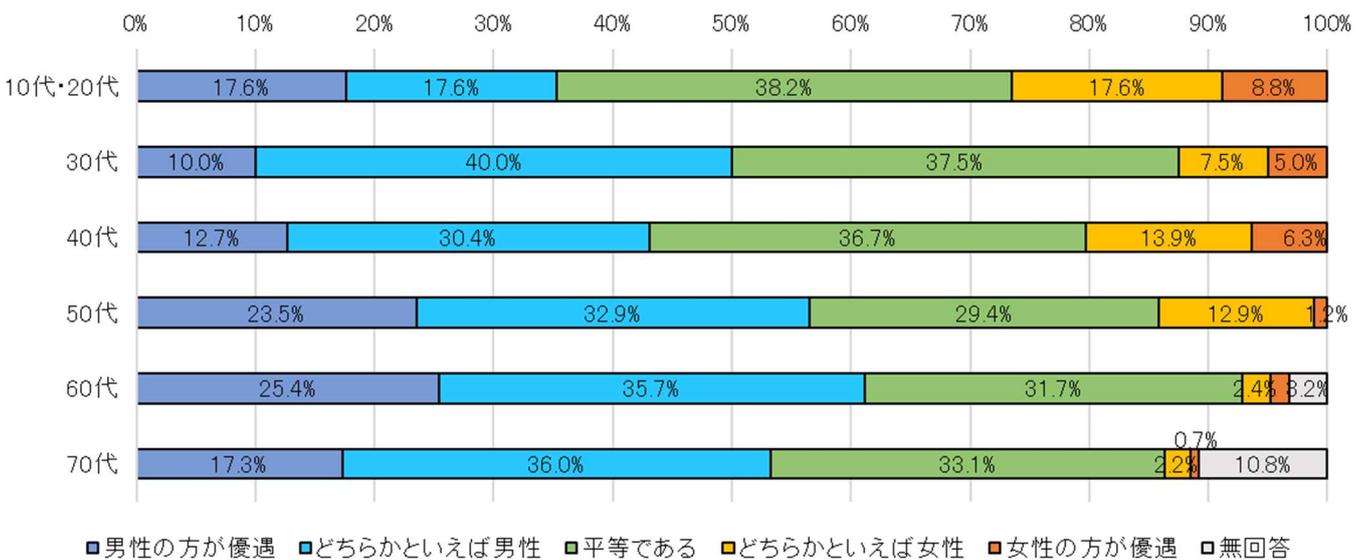
設問2

⑤ 法律や制度上

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	96	19.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	169	33.6%
平等である	168	33.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	37	7.4%
女性の方が優遇されている	14	2.8%
無回答	19	3.8%
合計	503	100%



○ 年代による比較

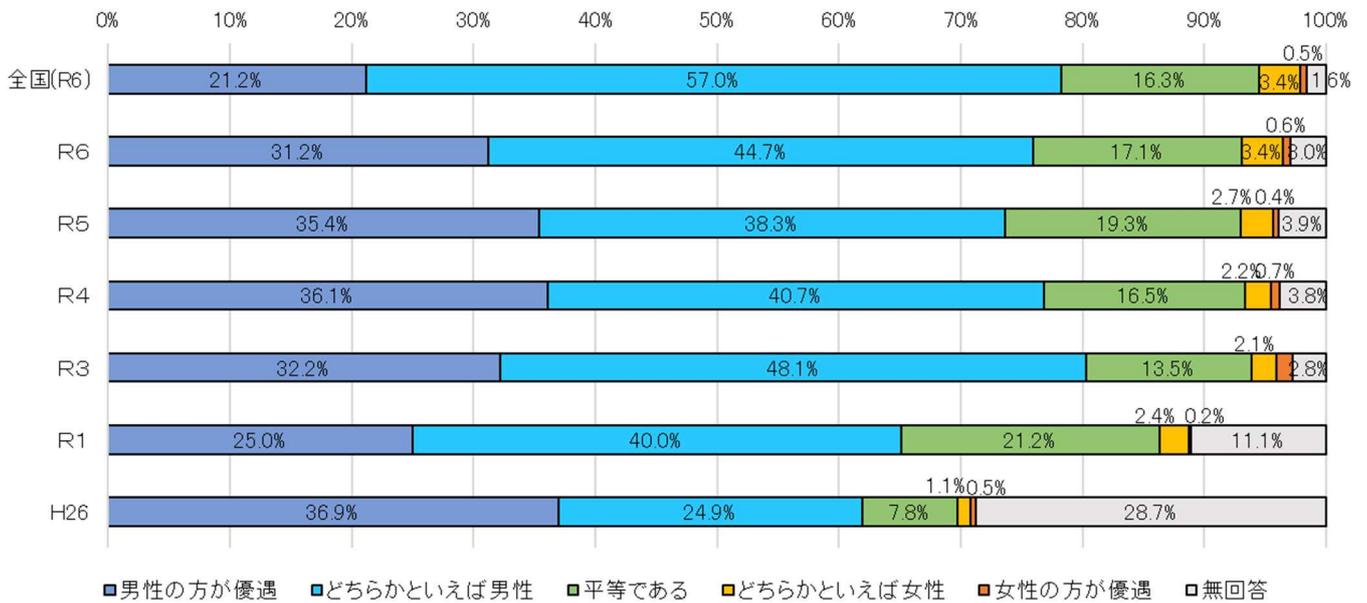
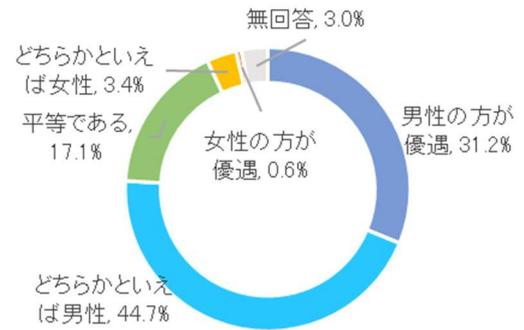


- 全体では、「平等である」の割合が 33.4%と、全国調査より 2.6 ポイント下回っています。
- 年代別では、「平等である」の割合が最も高い 10 代・20 代で 38.2%、最も低い 50 代で 29.4%と 8.8 ポイントの開きがあります。

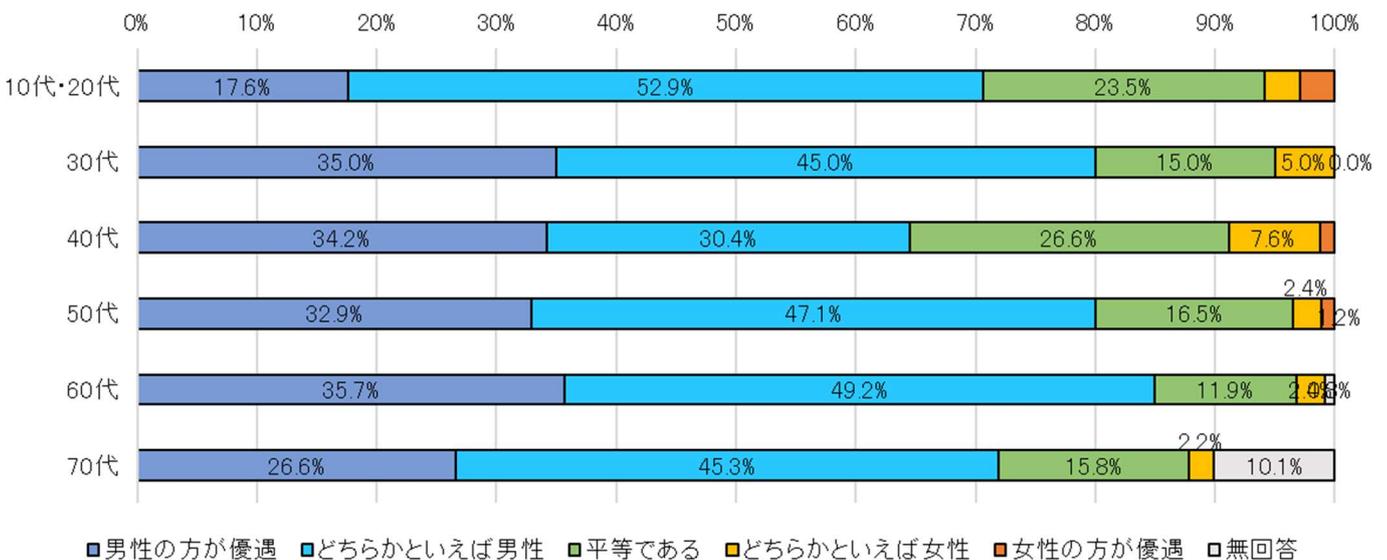
設問2

⑥ 社会通念、習慣、しきたり

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	157	31.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	225	44.7%
平等である	86	17.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	17	3.4%
女性の方が優遇されている	3	0.6%
無回答	15	3.0%
合計	503	100%



○ 年代による比較



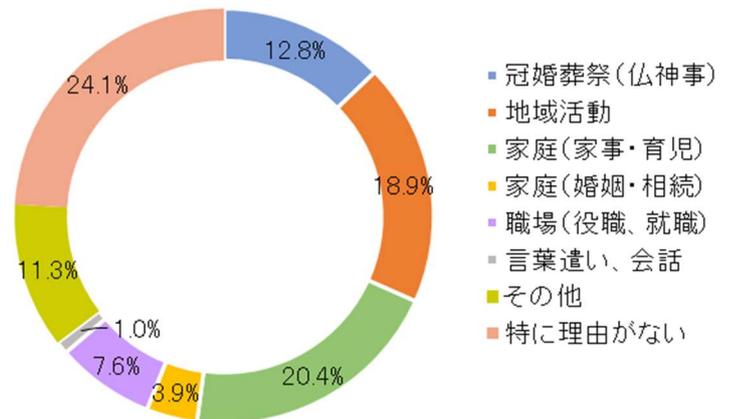
- 全体では、「平等である」の割合が17.1%と、全国調査より0.8ポイント上回っています。
- 年代別では、「平等である」の割合は40代が最大となり26.6%、最も低い60代は11.9%となっています。

⑥ a 社会通念、習慣、しきたりの詳細

設問2⑥で、「社会通念、習慣、しきたり」について、男女平等となっているかの問いに対し、その解答に至った具体的な場面を挙げてもらった。

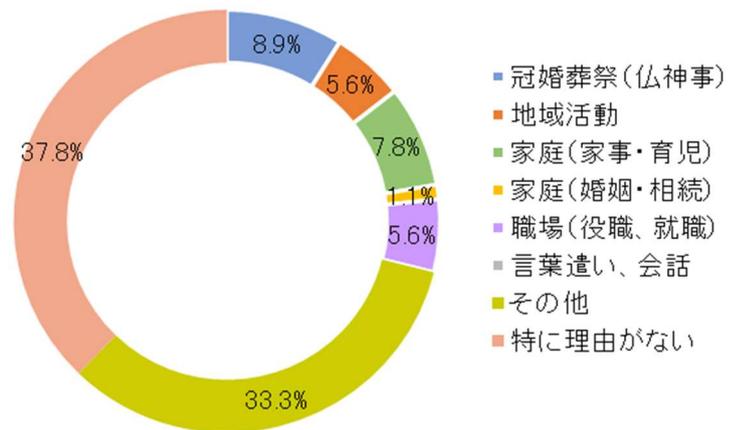
○ 男性の方が優遇されている, どちらかといえば男性の方が優遇されている (回答数 407 件)

項目	回答数	割合
冠婚葬祭 (仏神事)	52	12.8%
地域活動	77	18.9%
家庭 (家事・育児)	83	20.4%
家庭 (婚姻・相続)	16	3.9%
職場 (役職、就職)	31	7.6%
言葉遣い、会話	4	1.0%
その他	46	11.3%
特に理由がない	98	24.1%



○ 平等である (回答数 90 件)

項目	回答数	割合
冠婚葬祭 (仏神事)	8	8.9%
地域活動	5	5.6%
家庭 (家事・育児)	7	7.8%
家庭 (婚姻・相続)	1	1.1%
職場 (役職、就職)	5	5.6%
言葉遣い、会話	0	0.0%
その他	30	33.3%
特に理由がない	34	37.8%



○ 女性の方が優遇されている, どちらかといえば女性の方が優遇されている (回答数 20 件)

項目	回答数	割合
地域活動	1	5.0%
家庭 (家事・育児)	3	15.0%
職場 (役職、就職)	2	10.0%
その他	12	60.0%
特に理由がない	2	10.0%

❖ その他の主な回答

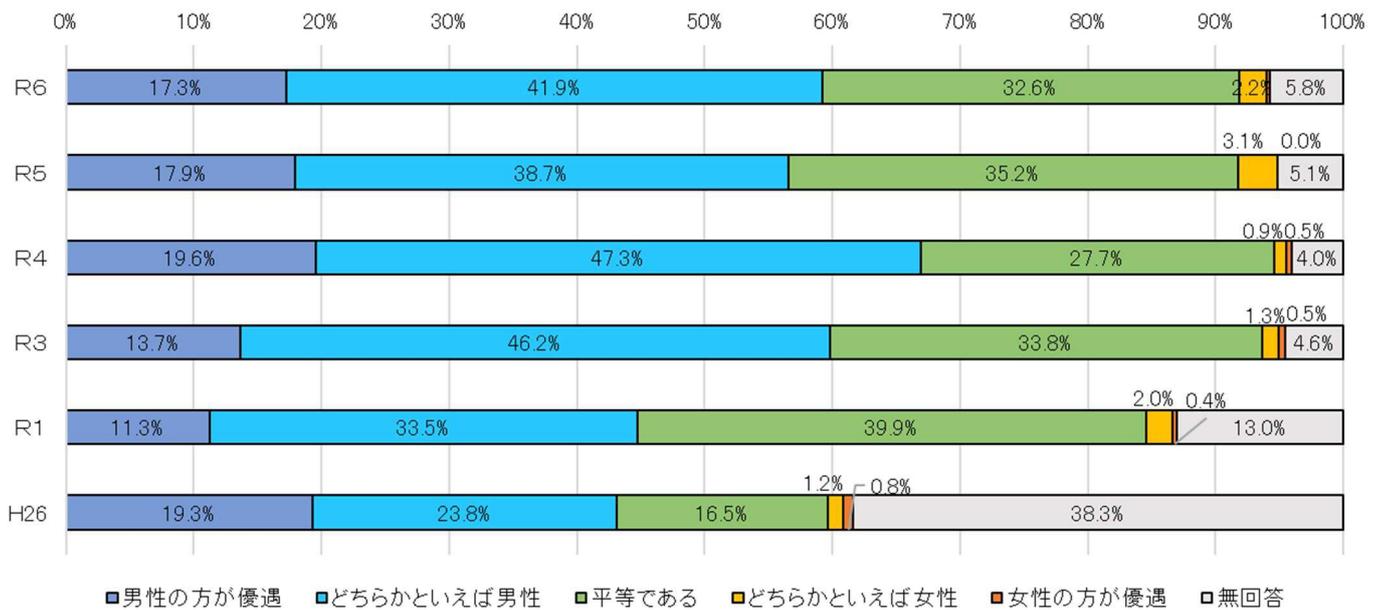
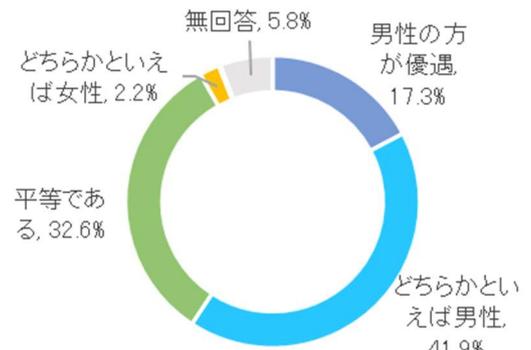
- ・ 親戚の集まり等で、女は動いて男は動かない。男尊女卑を感じる
- ・ 古くからのしきたり、伝統継承を大事にすればするほど男性が必要であり、中心として考えられる事になる。地域のリーダーも男性が、という意識が男女共にある
- ・ 普段生活していて、不平等とあまり思わない

○ 「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人は、冠婚葬祭、地域活動、家事・育児の場面が多かった。

設問2

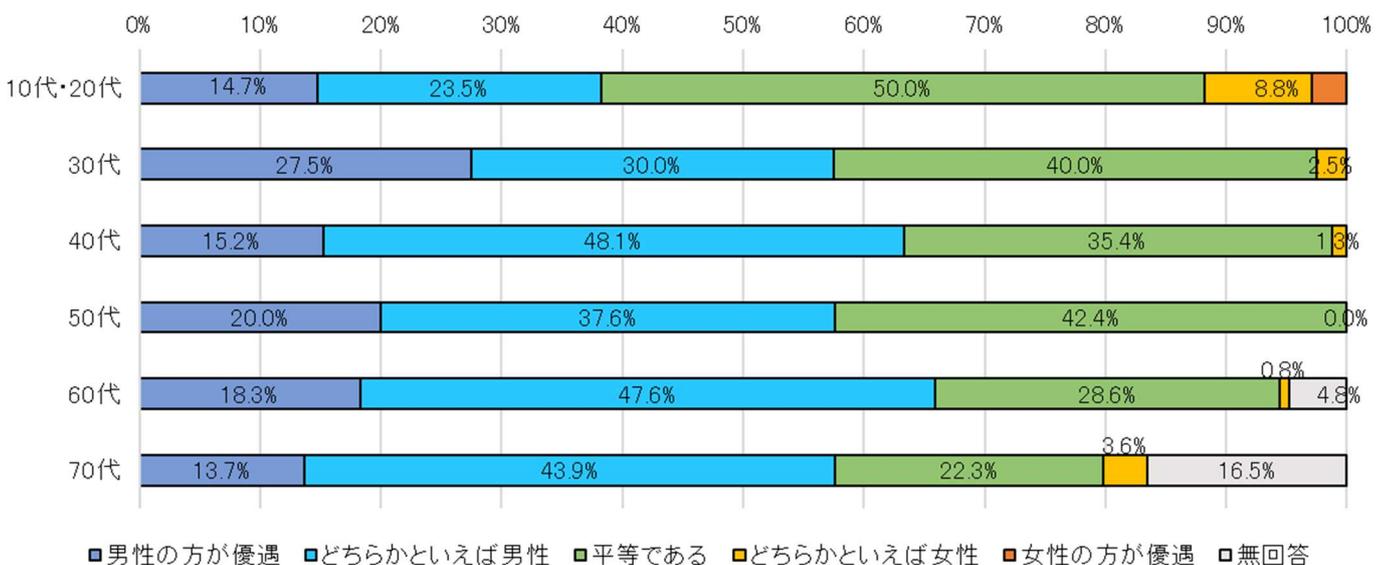
⑦ 就職

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	87	17.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	211	41.9%
平等である	164	32.6%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	11	2.2%
女性の方が優遇されている	1	0.2%
無回答	29	5.8%
合計	503	100%



※ 全国値データなし

○ 年代による比較

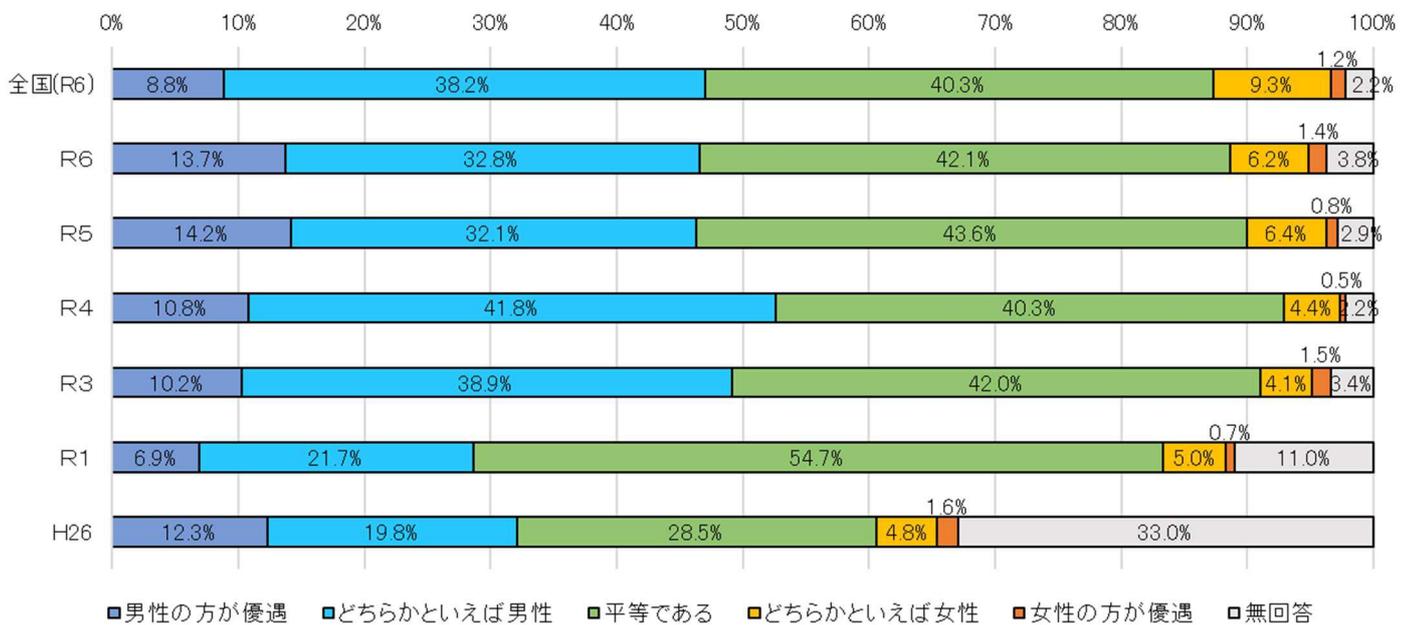
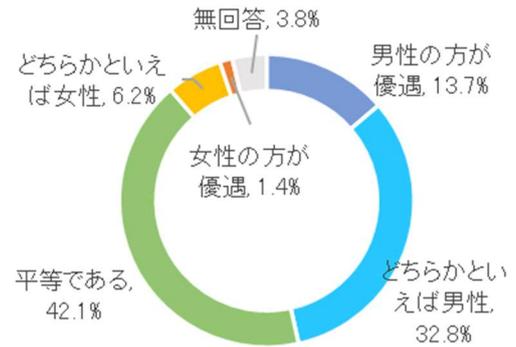


- 全体では、「平等である」の割合が 32.6%と、前回調査から 2.6 ポイント減少しています。
- 年代別では、「平等である」の割合は 10代・20代で最大となり 50.0%、70代では 22.3%と最小になっています。

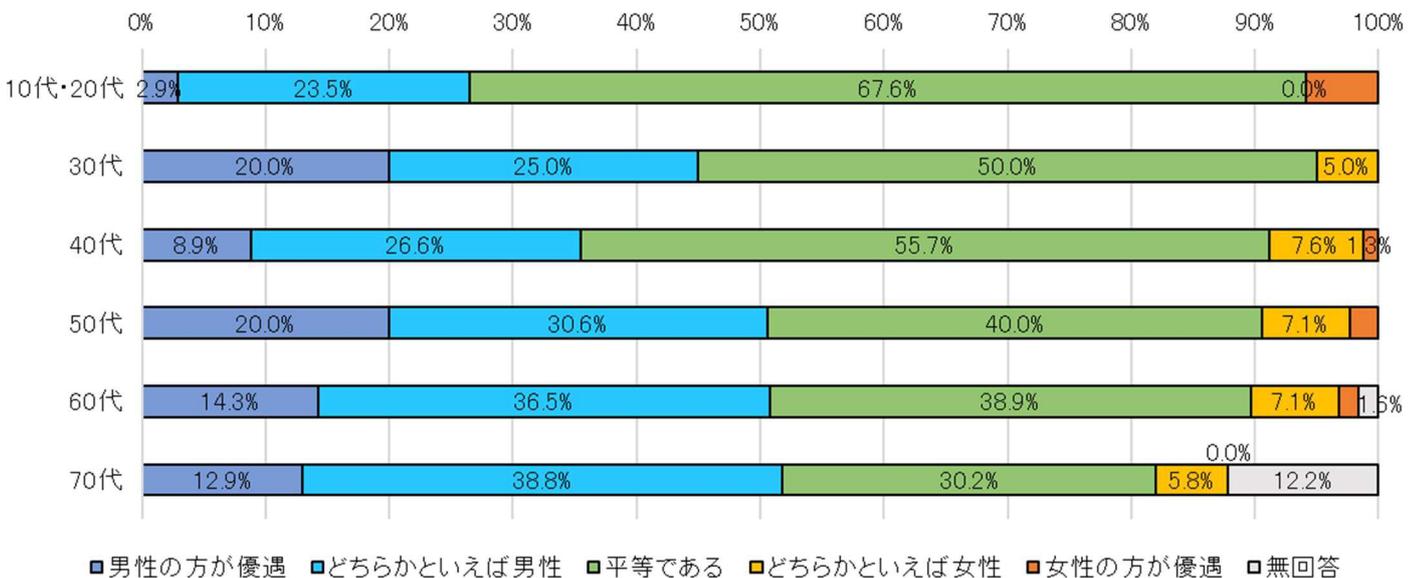
設問2

⑧ 地域活動

項目	回答数	割合
男性の方が優遇されている	69	13.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	165	32.8%
平等である	212	42.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	31	6.2%
女性の方が優遇されている	7	1.4%
無回答	19	3.8%
合計	503	100%



○ 年代による比較



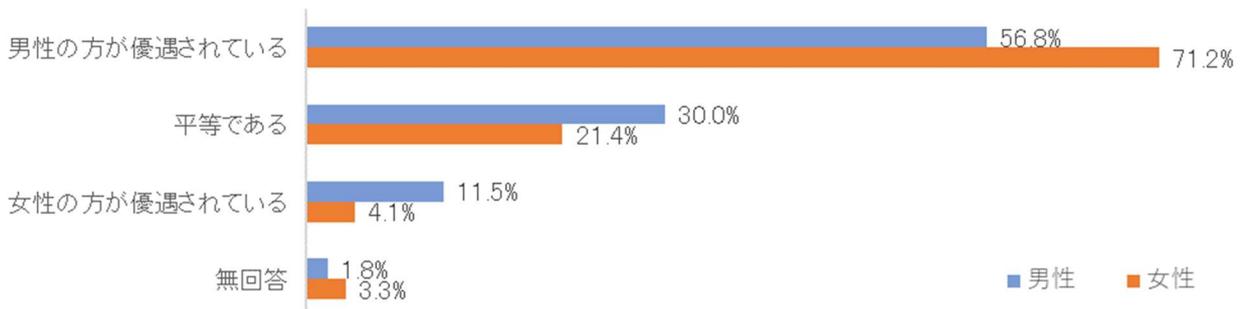
- 全体では、「平等である」の割合が42.1%と、全国調査より1.8ポイント上回っています。
- 年代別では、「平等である」の割合は10代・20代で最大となり67.6%、年代が上がるに

つれて割合が減少し、60代で38.9%、70代で30.2%となっています。

※ 男女別集計 男性：227人、女性：271人、その他2人、答えたくない：3人 合計503人

設問1 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。

項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	129	56.8%	193	71.2%
平等である	68	30.0%	58	21.4%
女性の方が優遇されている	26	11.5%	11	4.1%
無回答・わからない	4	1.8%	9	3.3%
全体	227	100.0%	271	100.0%

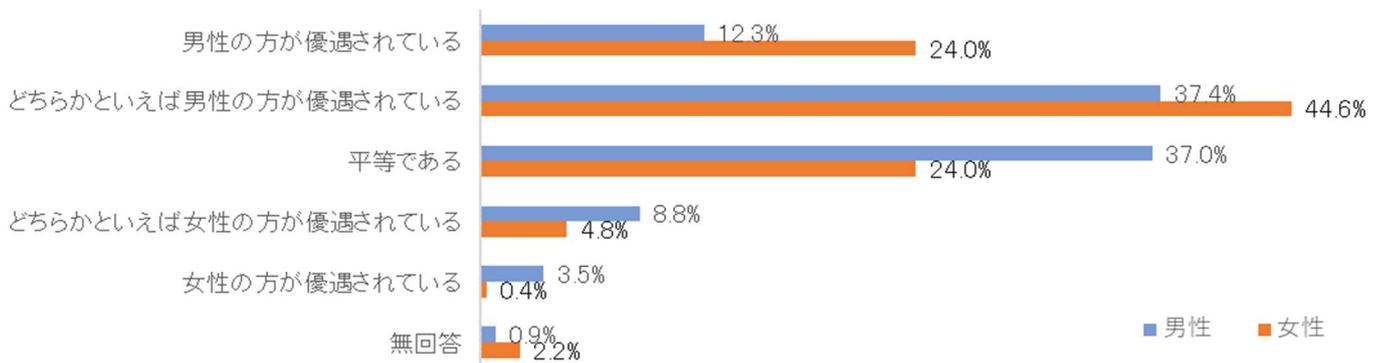


- 「平等である」の割合は男性の方が高くなっています。
- 男性、女性とも、相手の性別を優遇されているとする割合が高くなっています。

設問2 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。

① 家庭生活

項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	28	12.3%	65	24.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	85	37.4%	121	44.6%
平等である	84	37.0%	65	24.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	8.8%	13	4.8%
女性の方が優遇されている	8	3.5%	1	0.4%
無回答	2	0.9%	6	2.2%
全体	227	100.0%	271	100.0%

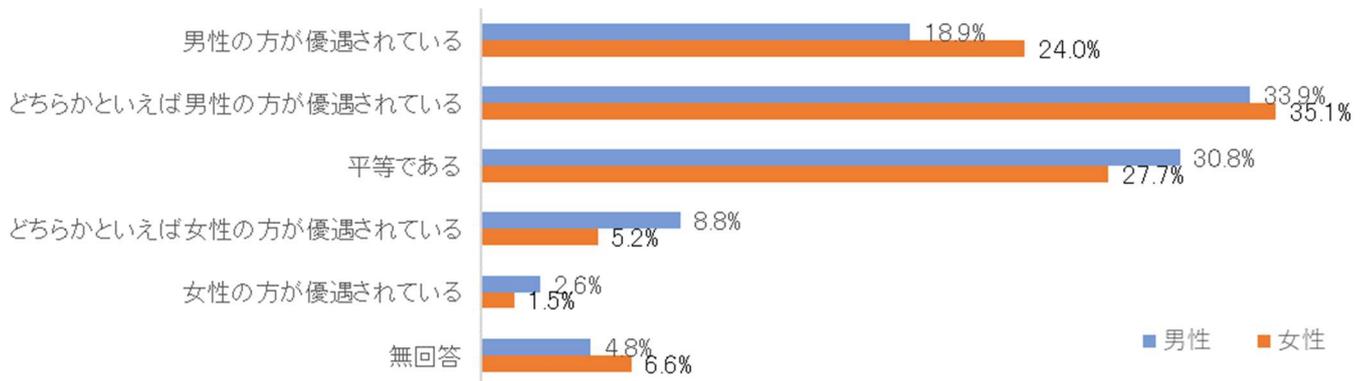


- 「平等である」の割合は男性の方が高くなっています。

○ 男性、女性とも、相手の性別を優遇されているとする割合が高くなっています。

② 職場

項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	43	18.9%	65	24.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	77	33.9%	95	35.1%
平等である	70	30.8%	75	27.7%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	8.8%	14	5.2%
女性の方が優遇されている	6	2.6%	4	1.5%
無回答	11	4.8%	18	6.6%
全体	227	100.0%	271	100.0%

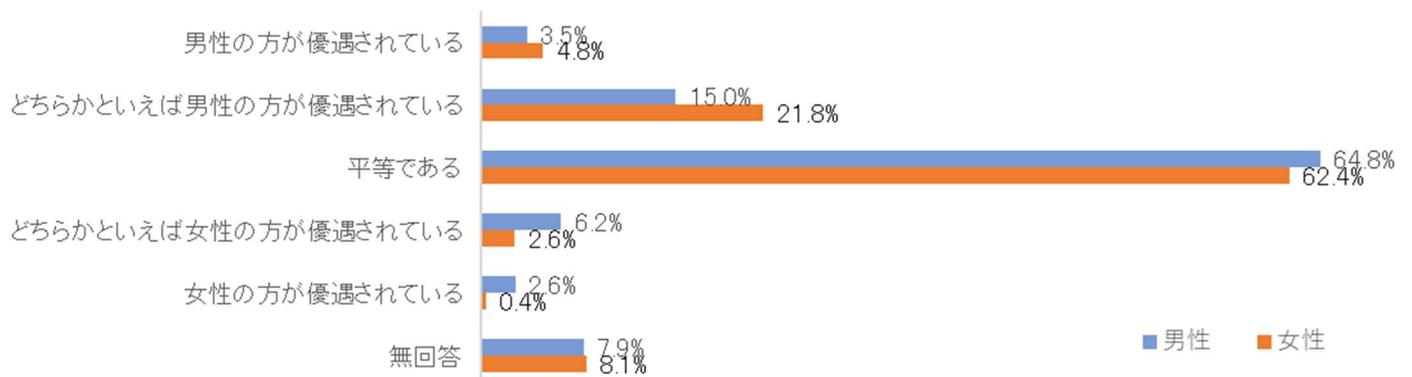


○ 「平等である」の割合は男性の方が高くなっています。

○ 男性、女性とも、相手の性別を優遇されているとする割合が高くなっています。

③ 学校教育の場

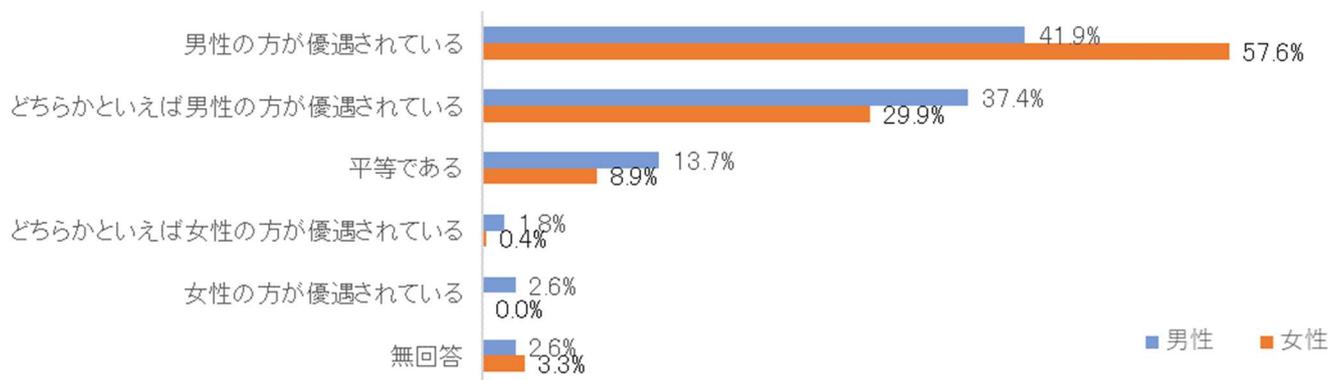
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	8	3.5%	13	4.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	34	15.0%	59	21.8%
平等である	147	64.8%	169	62.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	14	6.2%	7	2.6%
女性の方が優遇されている	6	2.6%	1	0.4%
無回答	18	7.9%	22	8.1%
全体	227	100.0%	271	100.0%



○ 「平等である」の割合は男性、女性とも6割を超えています。

④ 政治の場

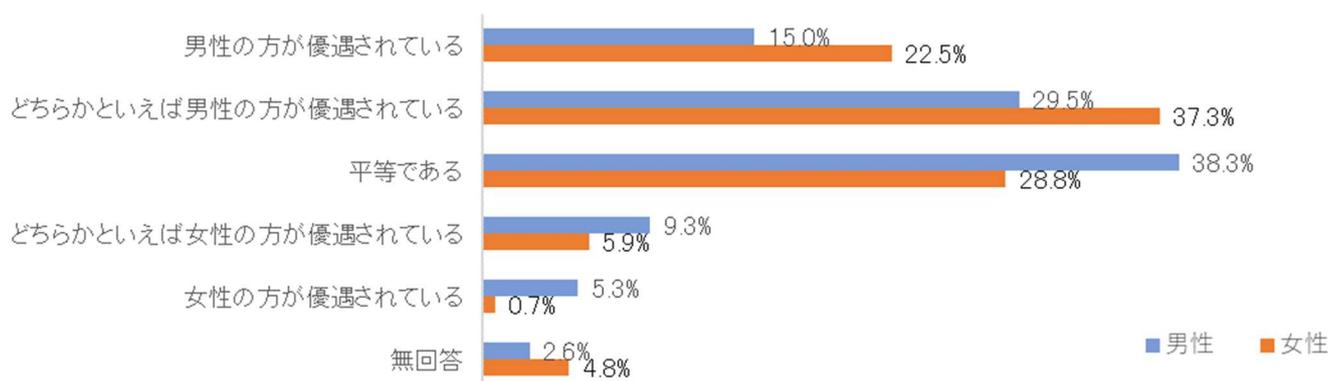
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	95	41.9%	156	57.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	85	37.4%	81	29.9%
平等である	31	13.7%	24	8.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	4	1.8%	1	0.4%
女性の方が優遇されている	6	2.6%	0	0.0%
無回答	6	2.6%	9	3.3%
全体	227	100.0%	271	100.0%



- 「平等である」の割合は男性の方が高くなっています。
- 「女性の方が優遇されている」の割合は男性、女性とも少数です。

⑤ 法律や制度上

項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	34	15.0%	61	22.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	67	29.5%	101	37.3%
平等である	87	38.3%	78	28.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	21	9.3%	16	5.9%
女性の方が優遇されている	12	5.3%	2	0.7%
無回答	6	2.6%	13	4.8%
全体	227	100.0%	271	100.0%

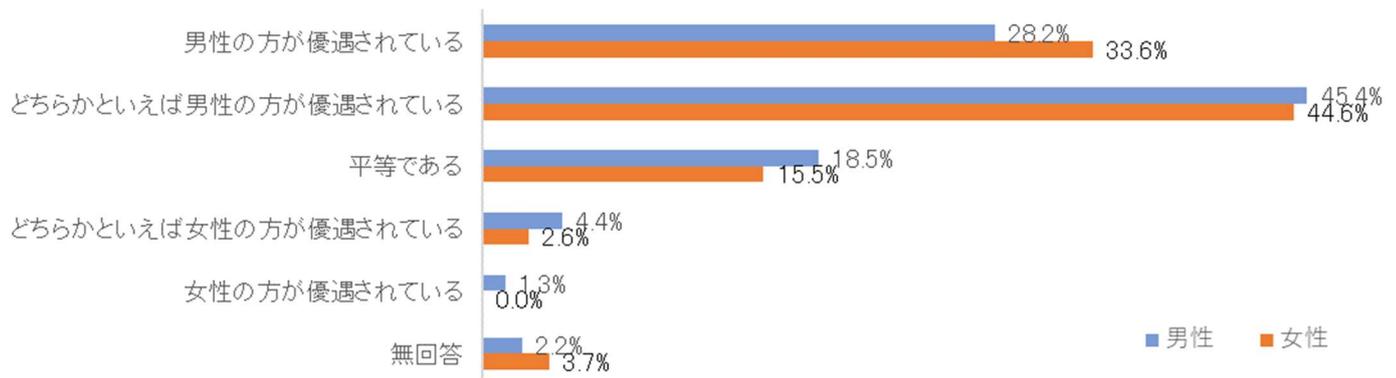


- 「男性の方が優遇されている」の割合は女性の方が高く、「女性の方が優遇されている」の

割合は男性の方が高くなっています。

⑥ 社会通念、習慣、しきたり

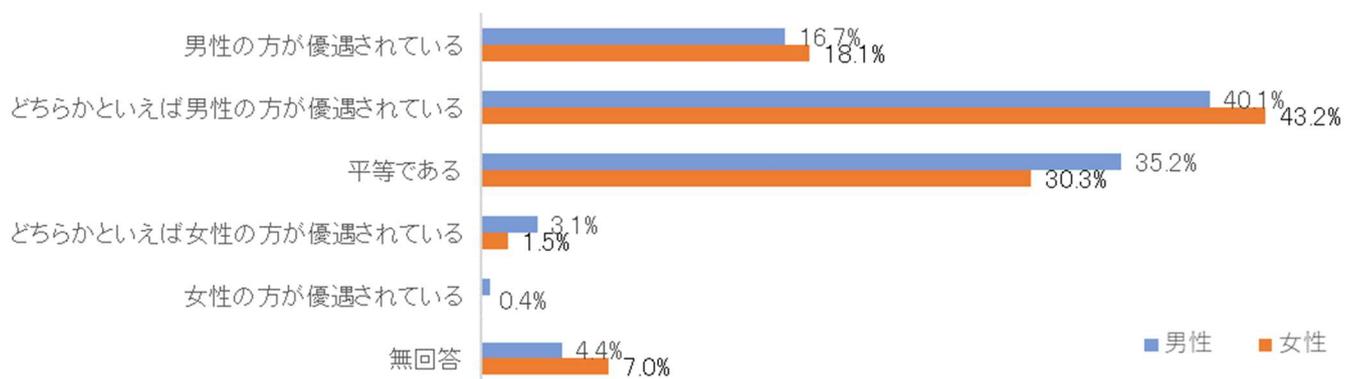
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	64	28.2%	91	33.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	103	45.4%	121	44.6%
平等である	42	18.5%	42	15.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	10	4.4%	7	2.6%
女性の方が優遇されている	3	1.3%	0	0.0%
無回答	5	2.2%	10	3.7%
全体	227	100.0%	271	100.0%



- 「平等である」の割合は男性の方が高くなっています。
- 「女性の方が優遇されている」の割合は男性、女性とも少数です。

⑦ 就職

項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	38	16.7%	49	18.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	91	40.1%	117	43.2%
平等である	80	35.2%	82	30.3%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	7	3.1%	4	1.5%
女性の方が優遇されている	1	0.4%	0	0.0%
無回答	10	4.4%	19	7.0%
全体	227	100.0%	271	100.0%

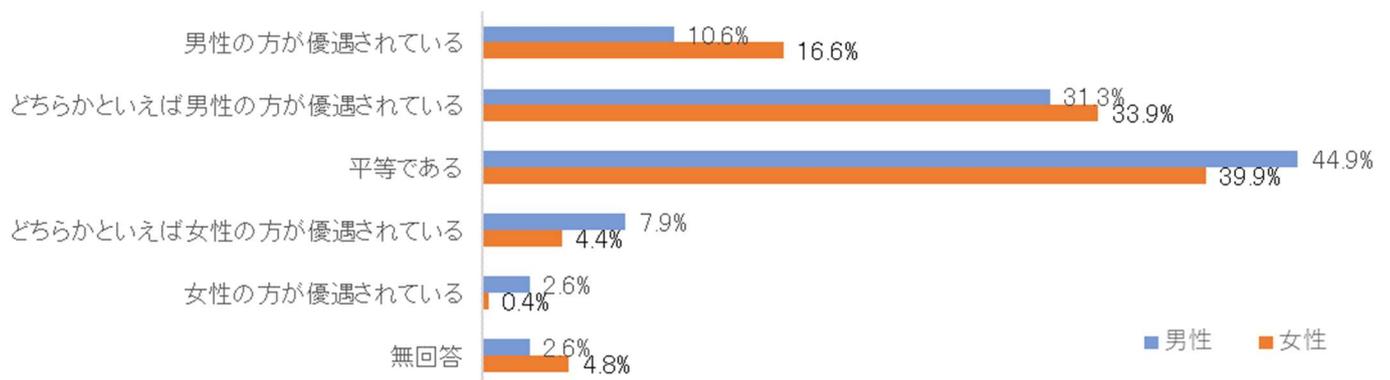


- 「平等である」の割合は男性の方が高くなっています。

○ 「女性の方が優遇されている」の割合は男性、女性とも少数です。

⑧ 地域活動

項 目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
男性の方が優遇されている	24	10.6%	45	16.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	71	31.3%	92	33.9%
平等である	102	44.9%	108	39.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	18	7.9%	12	4.4%
女性の方が優遇されている	6	2.6%	1	0.4%
無回答	6	2.6%	13	4.8%
全 体	227	100.0%	271	100.0%



○ 各項目の回答割合は男性、女性とも同じような傾向になっています。

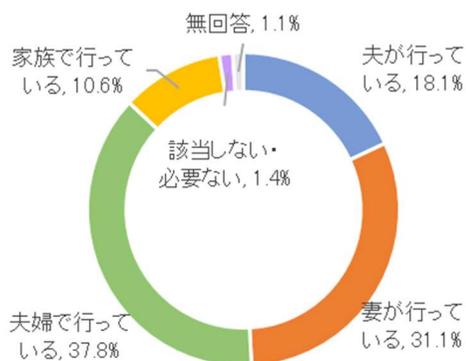
※ 設問3-a・bは、配偶者・パートナーと同居している方のみ回答 / 同居している 360人、同居していない 127人、無回答 16人 合計 503人
 回答者内訳 10代・20代：6人、30代：25人、40代：58人、50代：64人、60代：93人、70代：114人

設問3-a

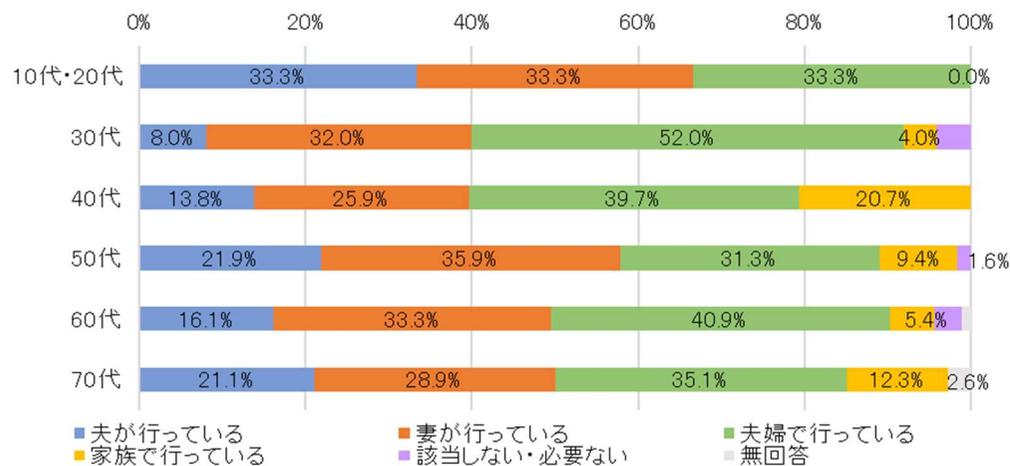
家庭での役割分担の現状について、あなたの家庭では次のようなことを主にどなたが行っていますか。(1つ選択)

① 家計全体のやりくり

項目	回答数
夫が行っている	65
妻が行っている	112
夫婦で行っている	136
家族で行っている	38
該当しない・必要ない	5
無回答	4
合計	360



○ 年代による比較

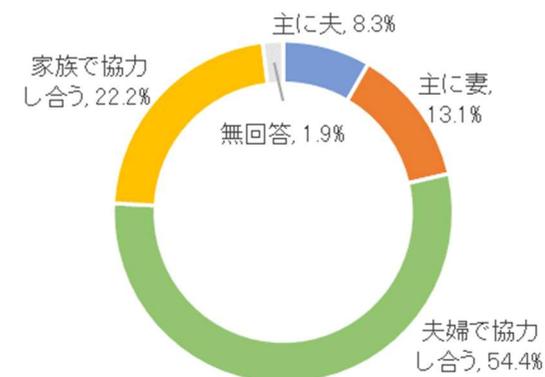


設問3-b

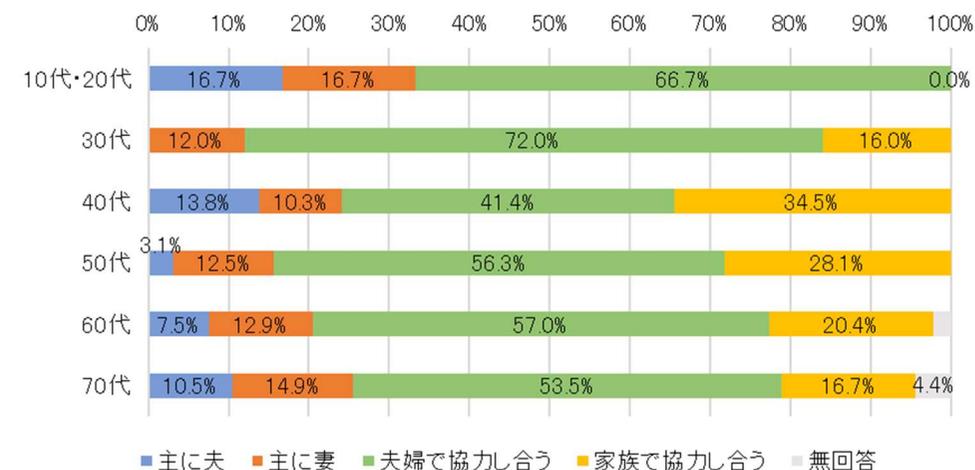
家庭での役割分担の理想について、次のようなことはどのような形が望ましいと思いますか。(1つ選択)

① 家計全体のやりくり

項目	回答数
主に夫	30
主に妻	47
夫婦で協力し合う	196
家族で協力し合う	80
無回答	7
合計	360



○ 年代による比較

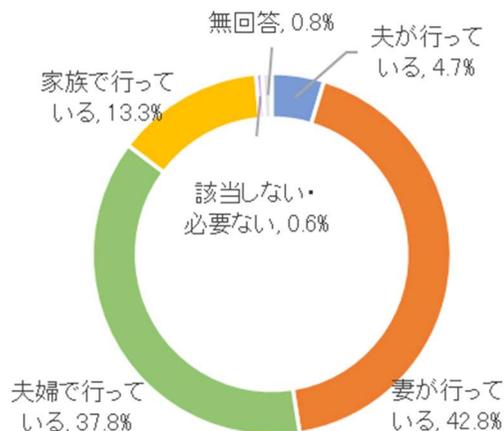


○ 設問3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」の割合が最も高く 54.4%になっていますが、設問3-a (実際の家事分担) の割合は 37.8%と低くなっています。

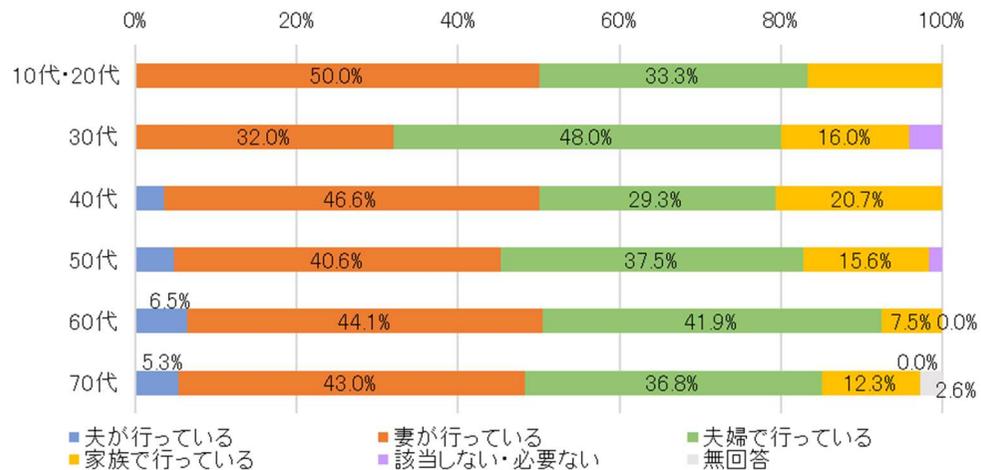
設問 3-a

② 日常の買い物

項目	回答数
夫が行っている	17
妻が行っている	154
夫婦で行っている	136
家族で行っている	48
該当しない・必要ない	2
無回答	3
合計	360



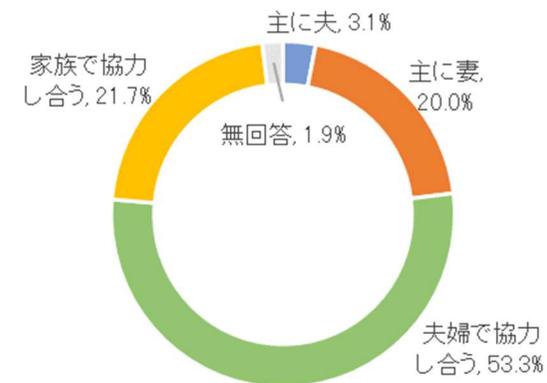
○ 年代による比較



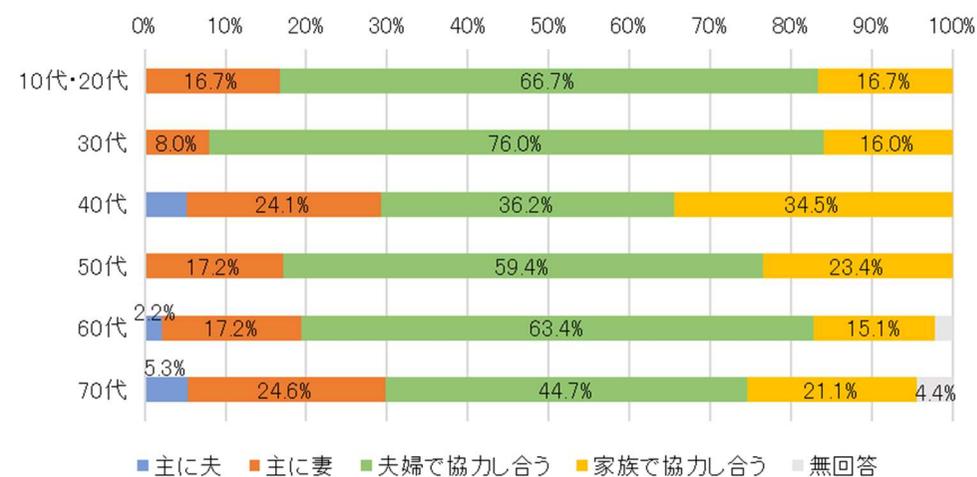
設問 3-b

② 日常の買い物

項目	回答数
主に夫	11
主に妻	72
夫婦で協力し合う	192
家族で協力し合う	78
無回答	7
合計	360



○ 年代による比較



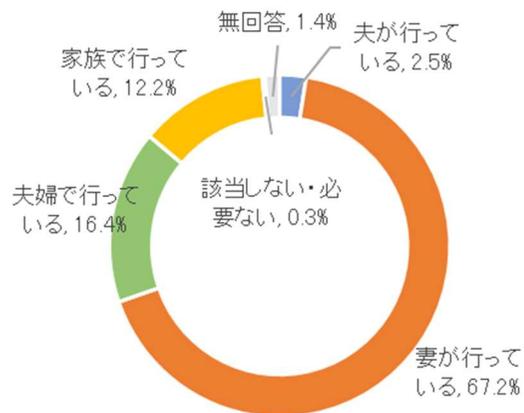
○ 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」の割合が最も高く 53.3%ですが、設問 3-a (実際の家事分担) では、「妻が行っている」の割合が高く 42.8%となっています。

○ 年代別では、設問 3-b (家事分担の理想) では 30 代が「夫婦で協力し合う」「家族で協力しあう」の割合が高く、設問 3-a (実際の家事分担) でも「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」の割合は 30 代が最も高くなっています。

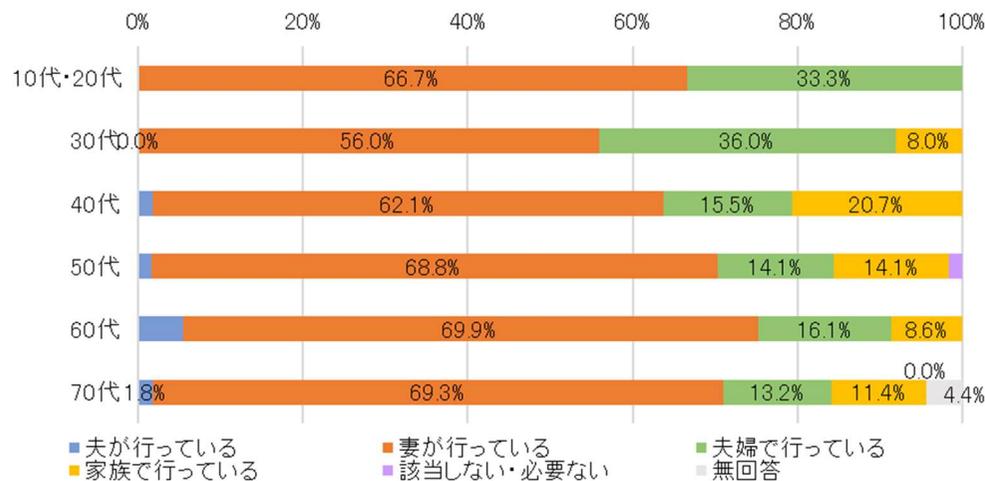
設問 3-a

③ 食事の支度

項目	回答数
夫が行っている	9
妻が行っている	242
夫婦で行っている	59
家族で行っている	44
該当しない・必要ない	1
無回答	5
合計	360



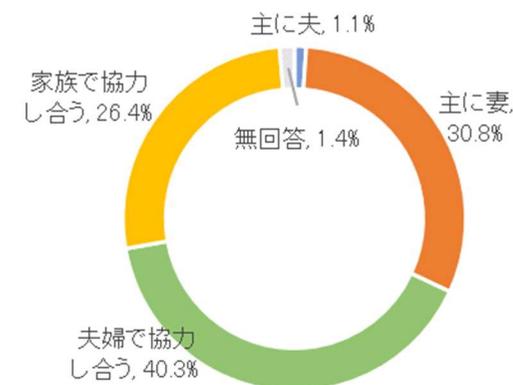
○ 年代による比較



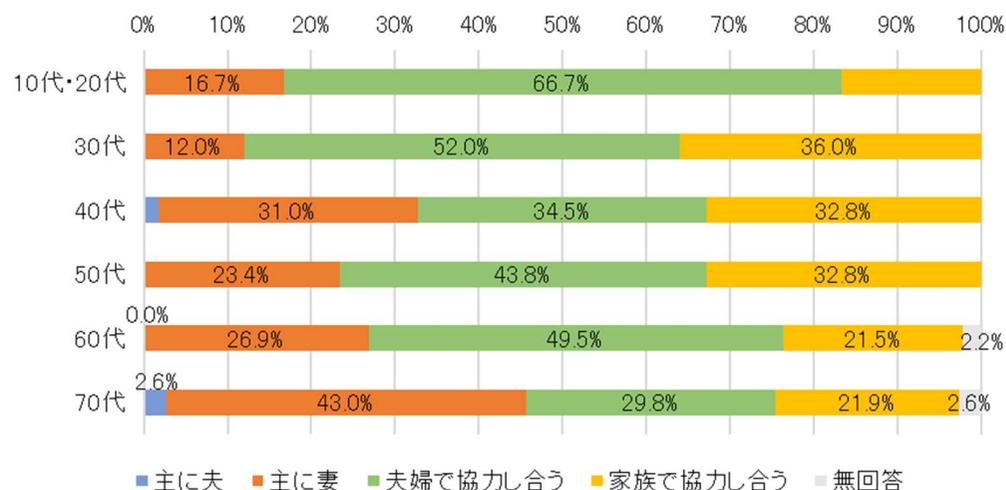
設問 3-b

③ 食事の支度

項目	回答数
主に夫	4
主に妻	111
夫婦で協力し合う	145
家族で協力し合う	95
無回答	5
合計	360



○ 年代による比較



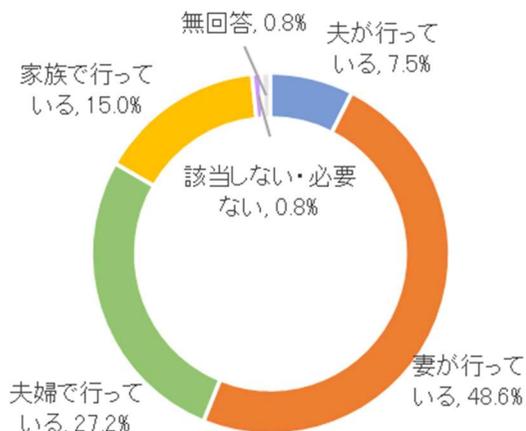
○ 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」の割合が最も高く 40.3%ですが、設問 3-a (実際の家事分担) では、「妻が行っている」の割合が高く 67.2%となっています。

○ 設問 3-2 (実際の家事分担) では、どの年代も「妻が行っている」の割合が高くなっています。

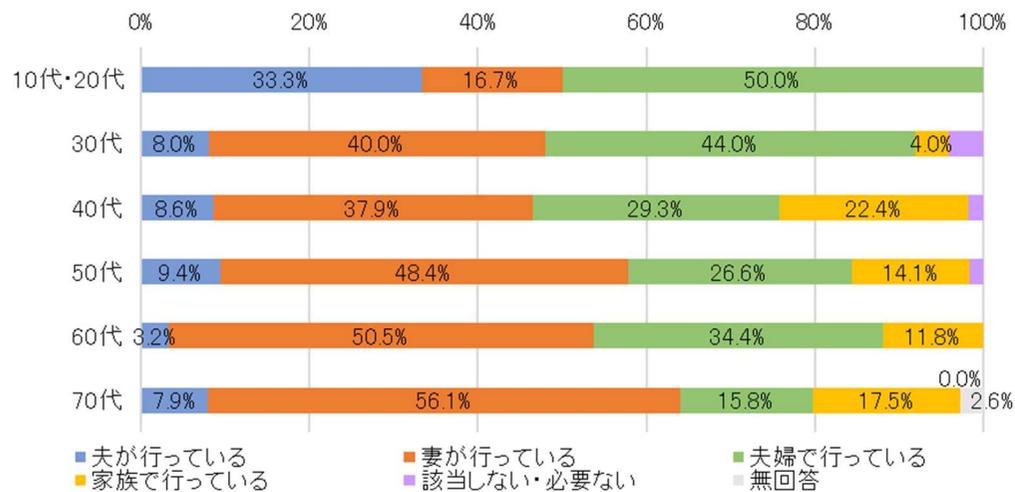
設問 3-a

④ 食事の後片付け

項目	回答数
夫が行っている	27
妻が行っている	175
夫婦で行っている	98
家族で行っている	54
該当しない・必要ない	3
無回答	3
合計	360



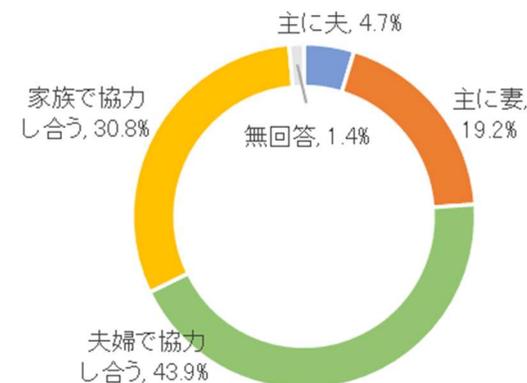
○ 年代による比較



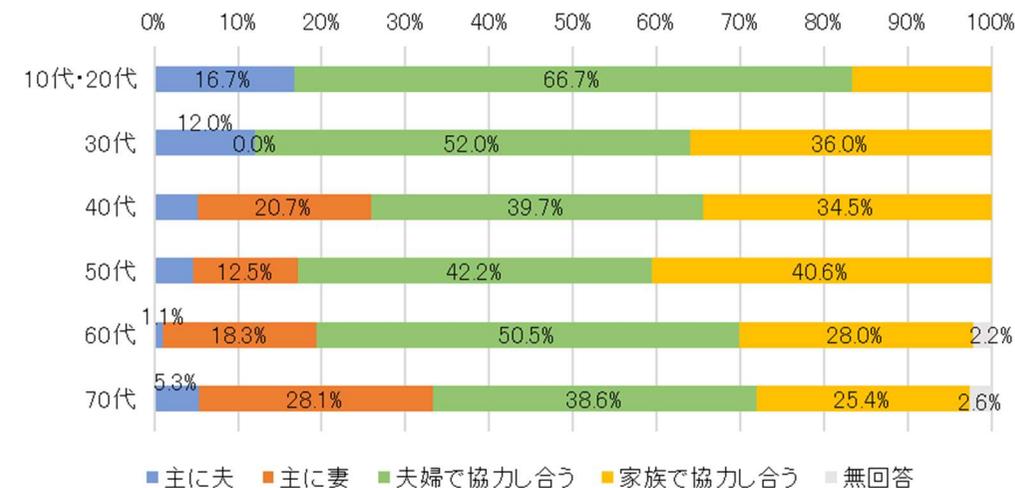
設問 3-b

④ 食事の後片付け

項目	回答数
主に夫	17
主に妻	69
夫婦で協力し合う	158
家族で協力し合う	111
無回答	5
合計	360



○ 年代による比較



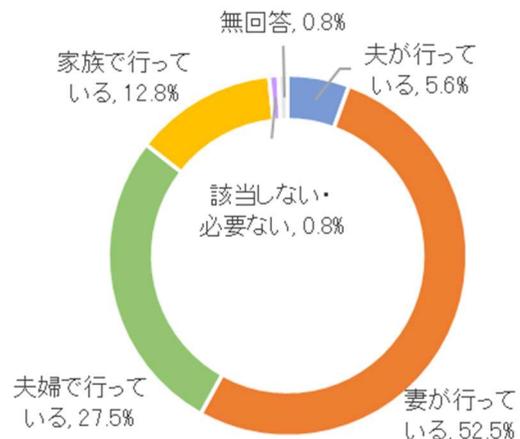
○ 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」の割合が最も高く 43.9%ですが、設問 3-a (実際の家事分担) では、「妻が行っている」の割合が高く 48.6%となっています。

○ 設問 3-a (実際の家事分担) では、40代以上で「妻が行っている」の割合が高くなっています。

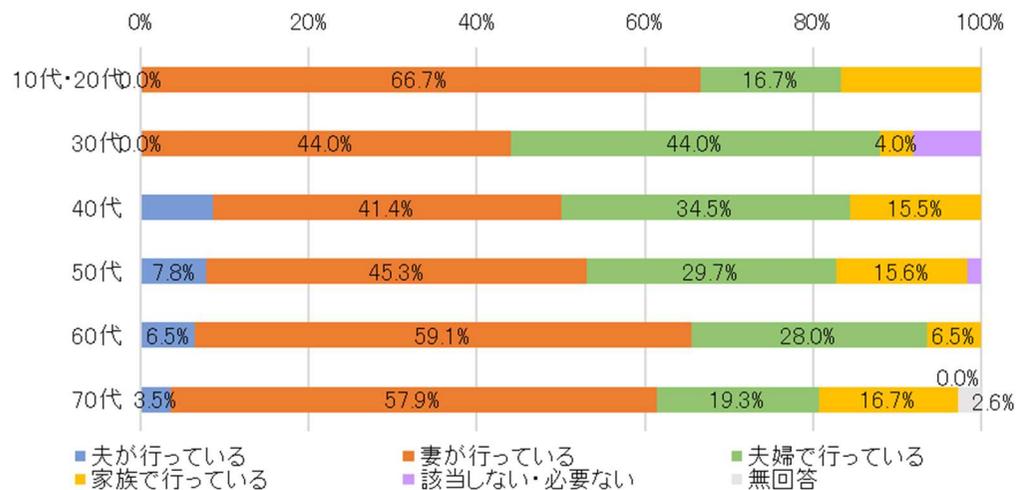
設問 3-a

⑤ 掃除

項目	回答数
夫が行っている	20
妻が行っている	189
夫婦で行っている	99
家族で行っている	46
該当しない・必要ない	3
無回答	3
合計	360



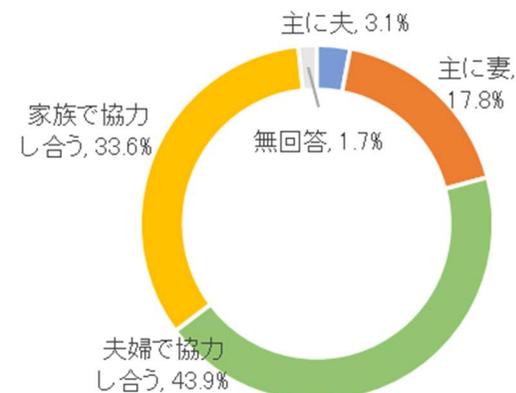
○ 年代による比較



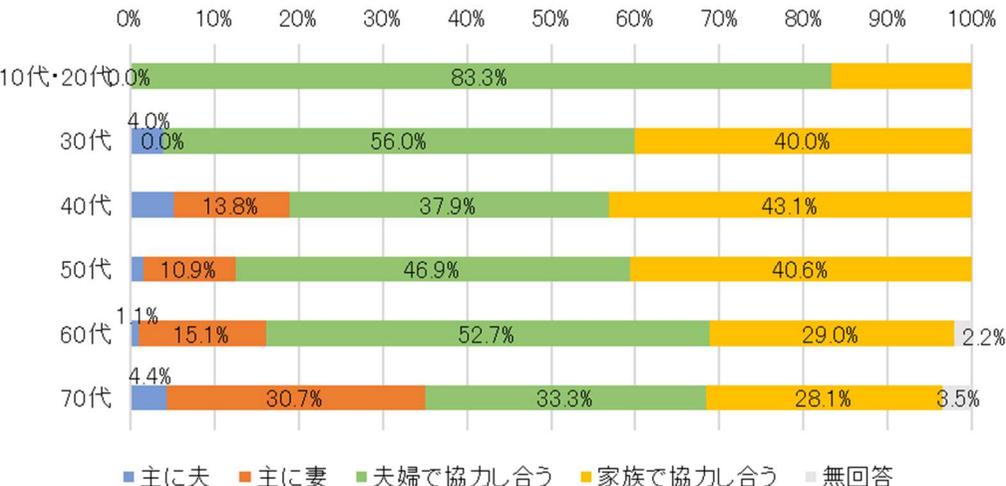
設問 3-b

⑤ 掃除

項目	回答数
主に夫	11
主に妻	64
夫婦で協力し合う	158
家族で協力し合う	121
無回答	6
合計	360



○ 年代による比較



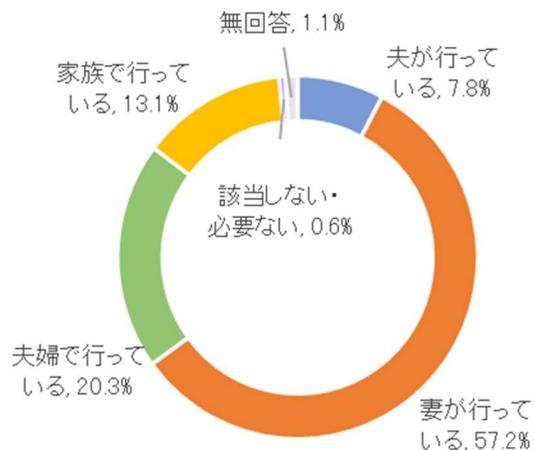
○ 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」の割合が最も高く 43.9%ですが、設問 3-a (実際の家事分担) では、「妻が行っている」の割合が高く 52.5%となっています。

○ 設問 3-a (実際の家事分担) では、ほぼ全ての年代で「妻が行っている」の割合が高くなっています。

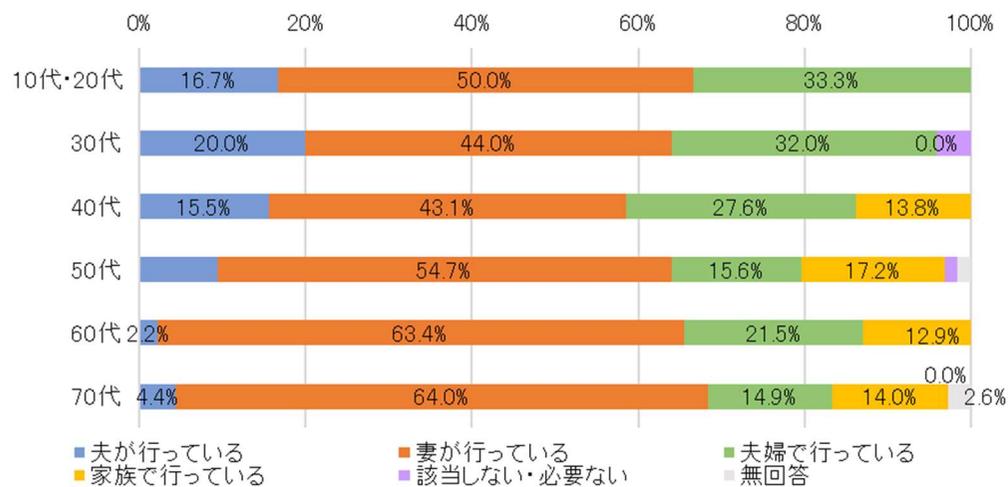
設問 3-a

⑥ 洗濯

項目	回答数
夫が行っている	28
妻が行っている	206
夫婦で行っている	73
家族で行っている	47
該当しない・必要ない	2
無回答	4
合計	360



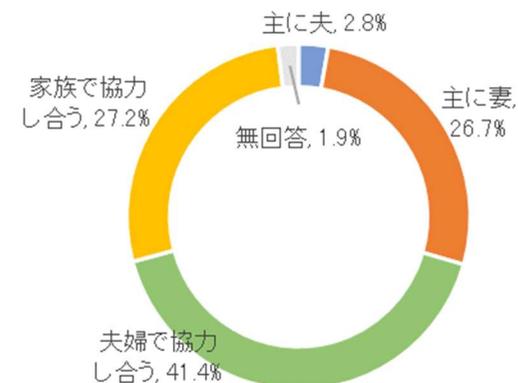
○ 年代による比較



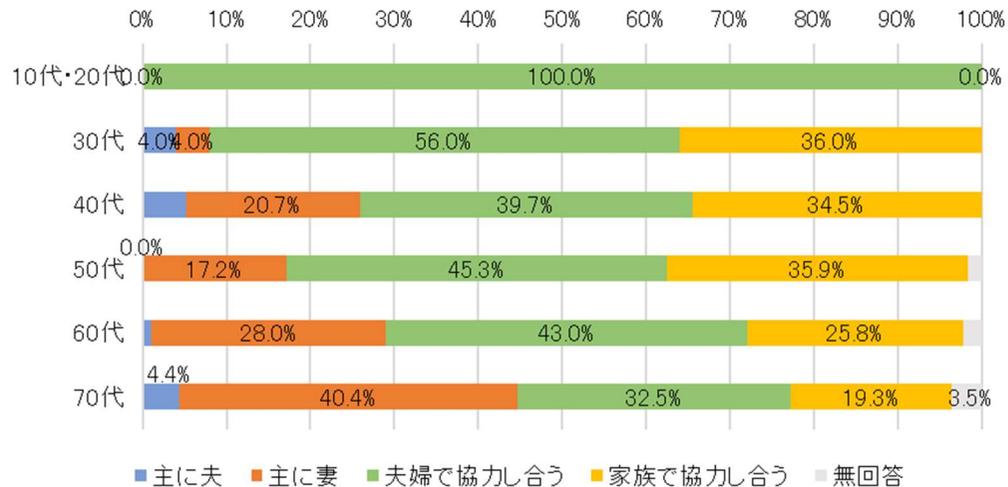
設問 3-b

⑥ 洗濯

項目	回答数
主に夫	10
主に妻	96
夫婦で協力し合う	149
家族で協力し合う	98
無回答	7
総計	360



○ 年代による比較



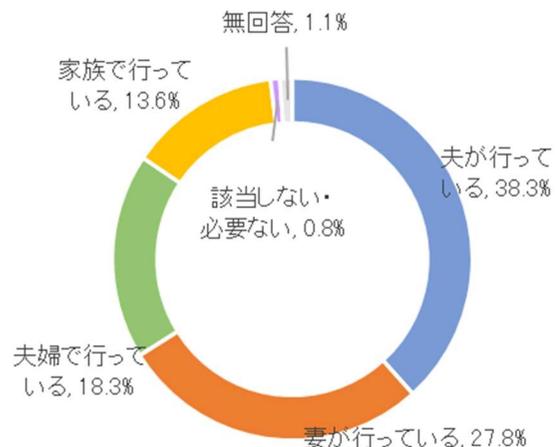
○ 設問 3-b（家事分担の理想）では、「夫婦で協力し合う」の割合が最も高く 41.4%ですが、設問 3-a（実際の家事分担）では、「妻が行っている」の割合が高く 57.2%となっています。

○ 設問 3-b（実際の家事分担）では、全年代で「妻が行っている」の割合が高くなっています。

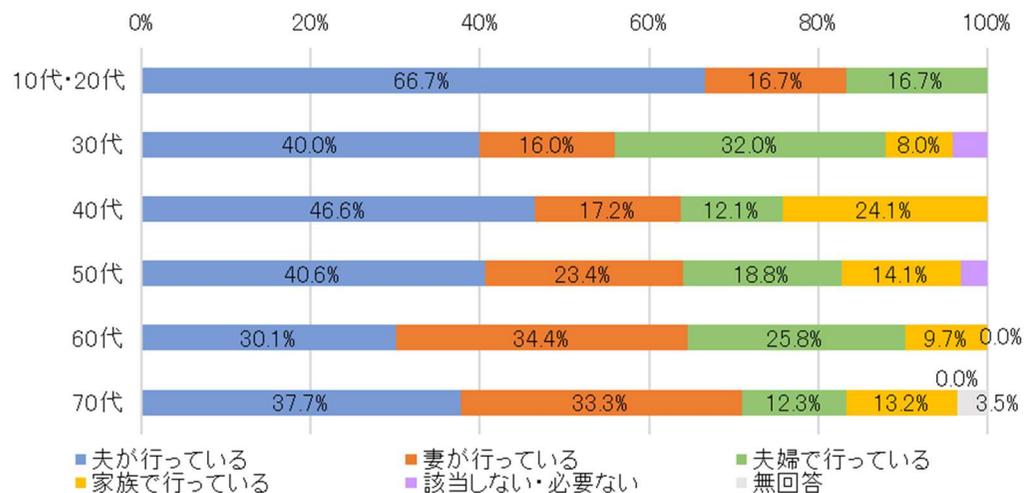
設問 3-a

⑦ ごみ出し

項目	回答数
夫が行っている	138
妻が行っている	100
夫婦で行っている	66
家族で行っている	49
該当しない・必要ない	3
無回答	4
合計	360



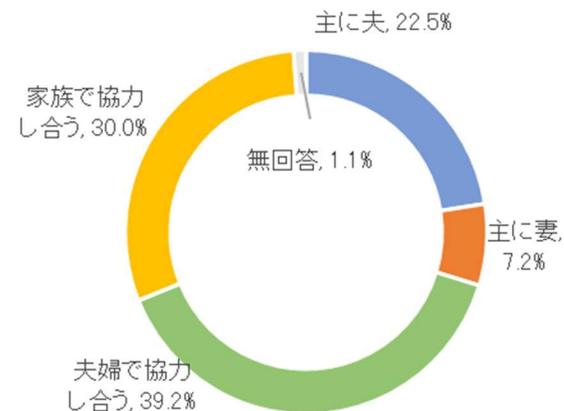
○ 年代による比較



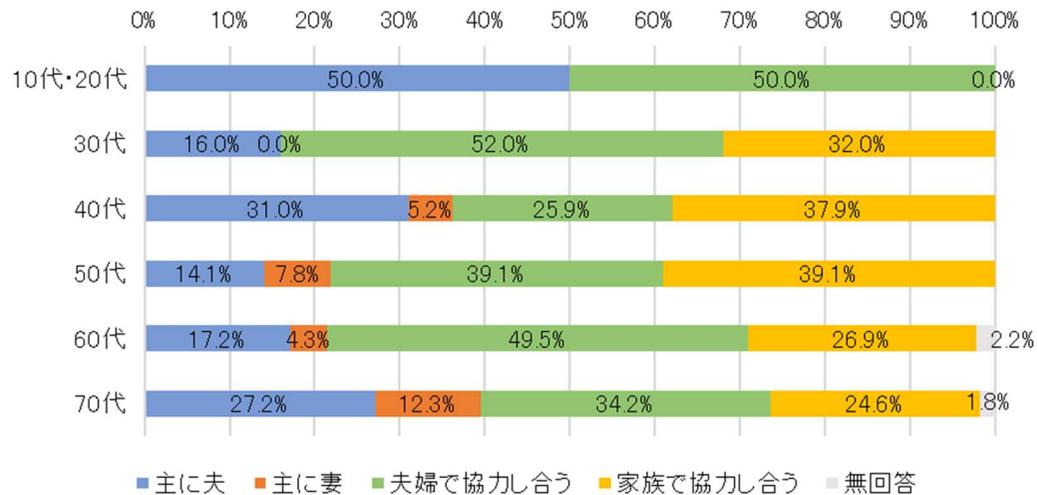
設問 3-b

⑦ ごみ出し

項目	回答数
主に夫	81
主に妻	26
夫婦で協力し合う	141
家族で協力し合う	108
無回答	4
総計	360



○ 年代による比較



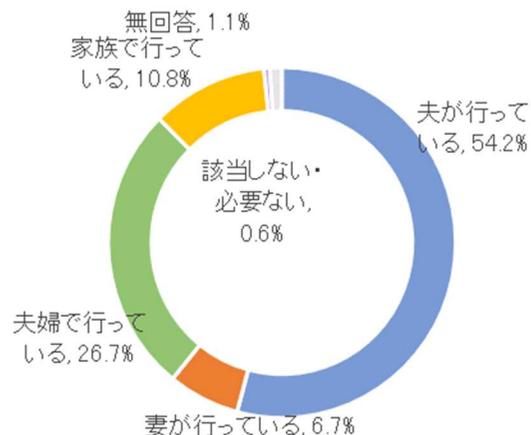
○ 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」の割合の合計が 69.2% となっていますが、設問 3-a (実際の家事分担) では、「夫が行っている」の割合が最も高く 38.3% となっています。

○ 設問 3-a (実際の家事分担) では、60 代を除く全年代で「夫が行っている」の割合が高くなっています。

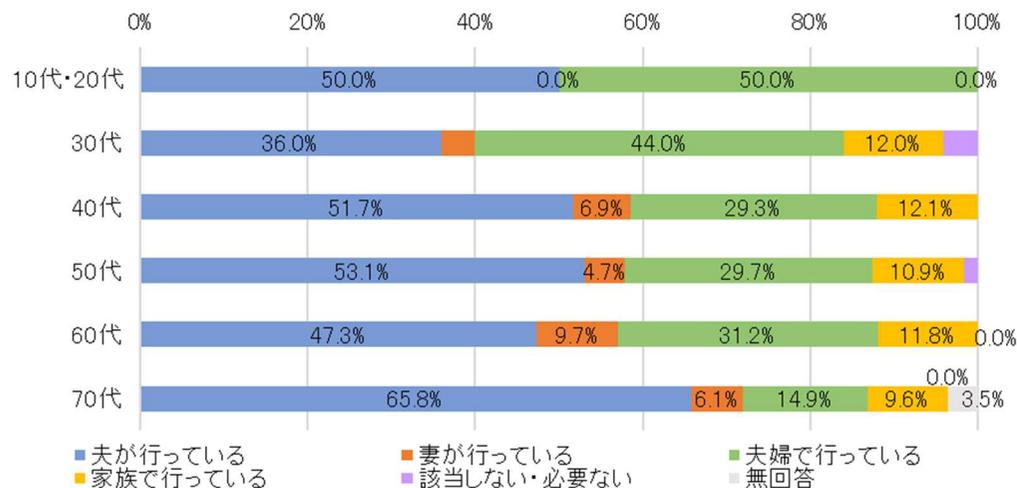
設問 3-a

⑧ 住宅や自家用車などの維持管理

項目	回答数
夫が行っている	39
妻が行っている	2
夫婦で行っている	24
家族で行っている	195
該当しない・必要ない	96
無回答	4
合計	360



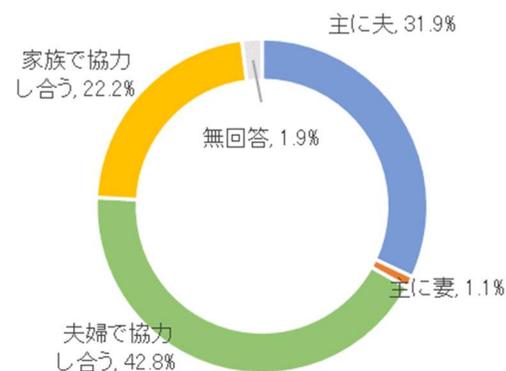
○ 年代による比較



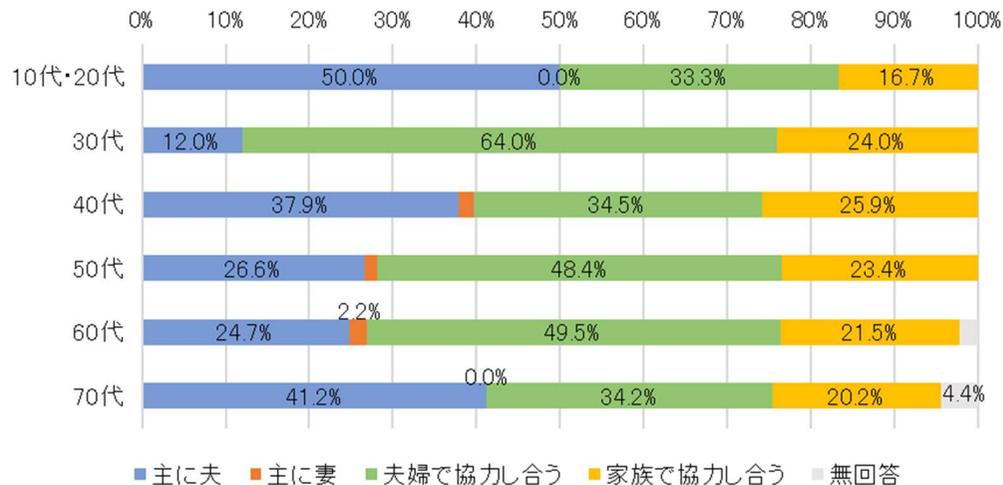
設問 3-b

⑧ 住宅や自家用車などの維持管理

項目	回答数
主に夫	115
主に妻	4
夫婦で協力し合う	154
家族で協力し合う	80
無回答	7
総計	360



○ 年代による比較



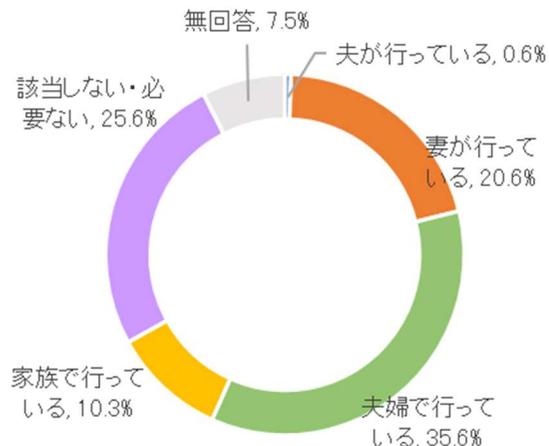
○ 設問 3-b（家事分担の理想）では、「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」の割合の合計が 65.0%となっていますが、設問 3-a（実際の家事分担）では、「夫が行っている」の割合が最も高く 54.2%となっています。

○ 設問 3-b（実際の家事分担）では、全般的に「夫が行っている」の割合が高くなっています。

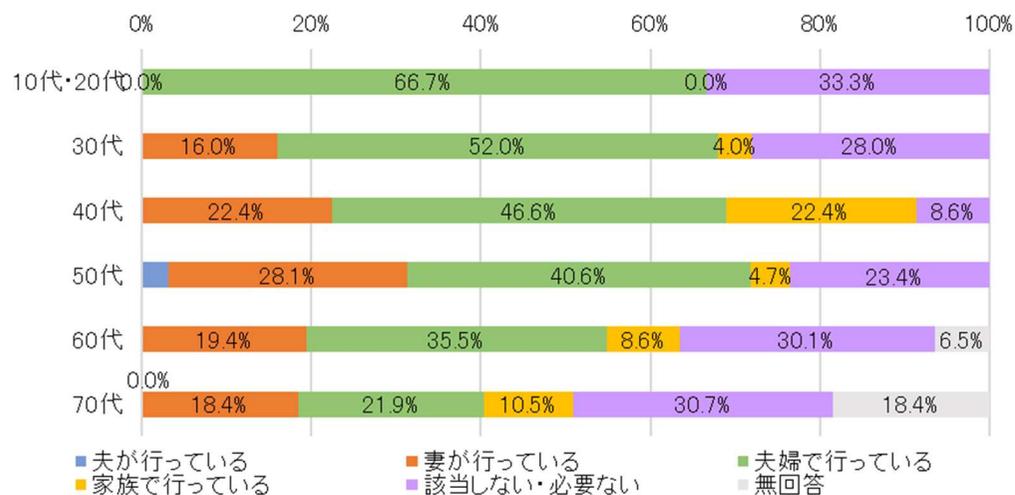
設問 3-a

⑨ 子どもの世話・教育

項目	回答数
夫が行っている	2
妻が行っている	74
夫婦で行っている	128
家族で行っている	37
該当しない・必要ない	92
無回答	27
合計	360



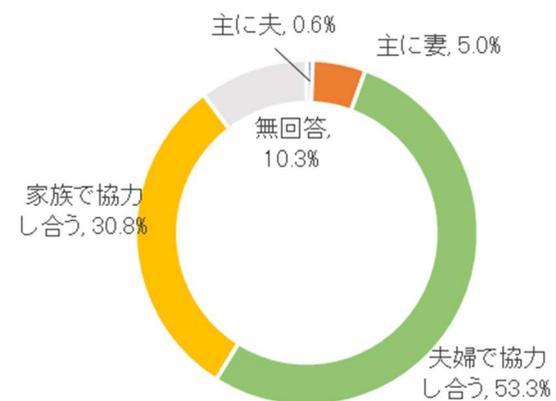
○ 年代による比較



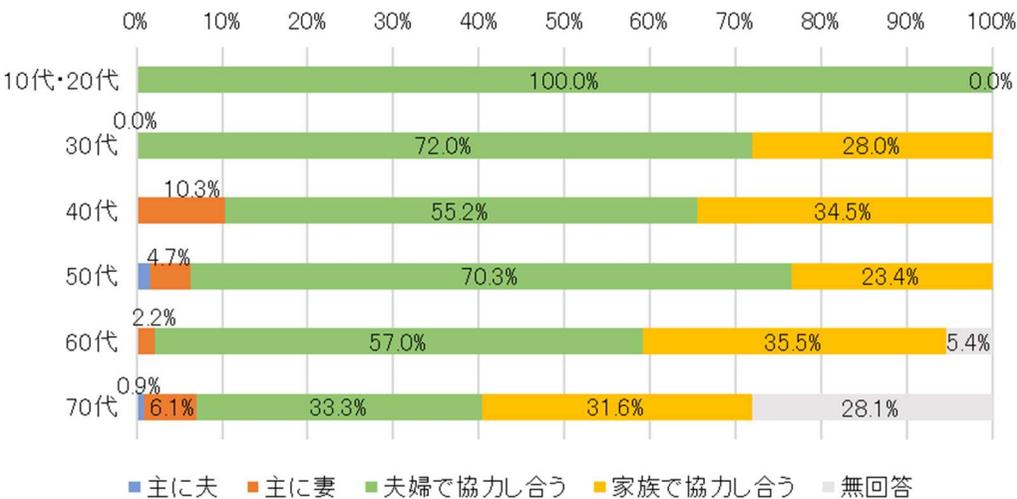
設問 3-b

⑨ 子どもの世話・教育

項目	回答数
主に夫	2
主に妻	18
夫婦で協力し合う	192
家族で協力し合う	111
無回答	37
合計	360



○ 年代による比較

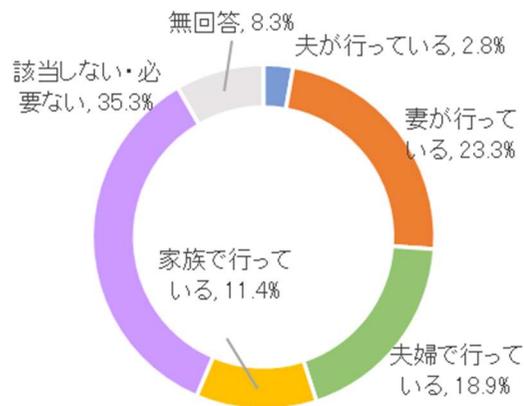


- 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」の割合の合計が8割を超えています。
- 設問 3-a (実際の家事分担) では、「夫が行っている」の割合が0.6%に対し、「妻が行っている」の割合が20.6%となっています。

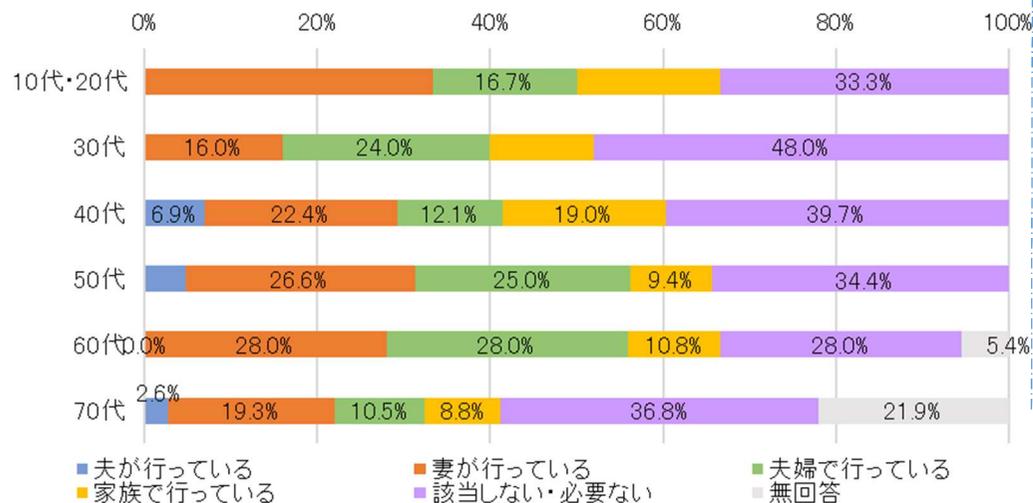
設問 3-a

⑩ 病人の世話や高齢者の介護

項目	回答数
夫が行っている	10
妻が行っている	84
夫婦で行っている	68
家族で行っている	41
該当しない・必要ない	127
無回答	30
合計	360



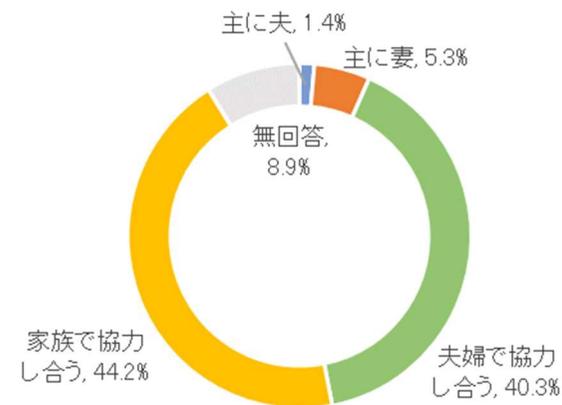
○ 年代による比較



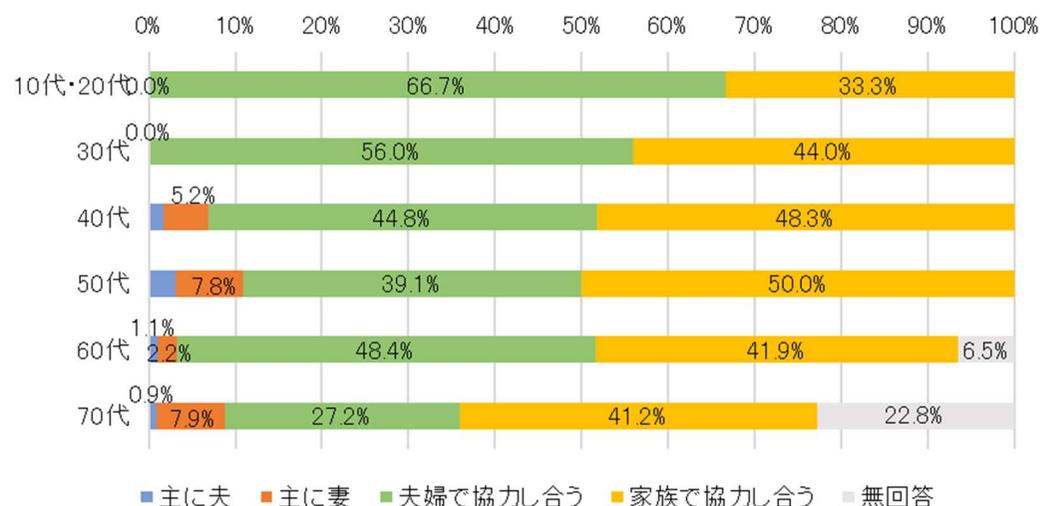
設問 3-b

⑩ 病人の世話や高齢者の介護

項目	回答数
主に夫	5
主に妻	19
夫婦で協力し合う	145
家族で協力し合う	159
無回答	32
総計	360



○ 年代による比較

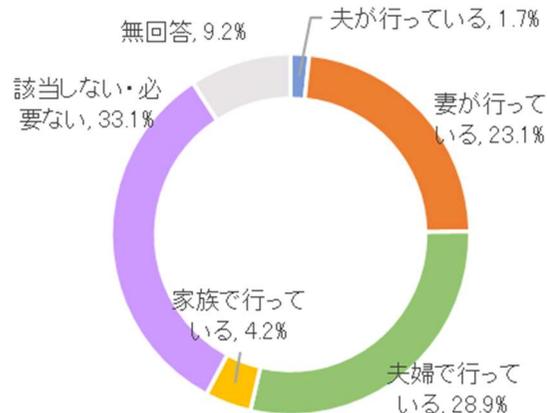


- 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」の割合の合計が8割を超えています。
- 設問 3-a (実際の家事分担) では、「夫が行っている」の割合が2.8%に対し、「妻が行っている」の割合が23.3%となっています。

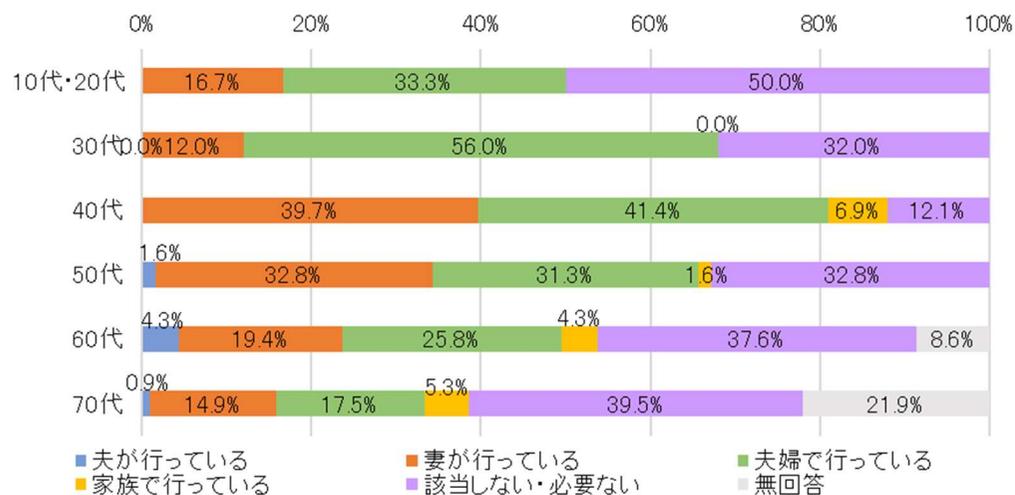
設問 3-a

⑪ 授業参観などの学校行事

項目	回答数
夫が行っている	6
妻が行っている	83
夫婦で行っている	104
家族で行っている	15
該当しない・必要ない	119
無回答	33
合計	360



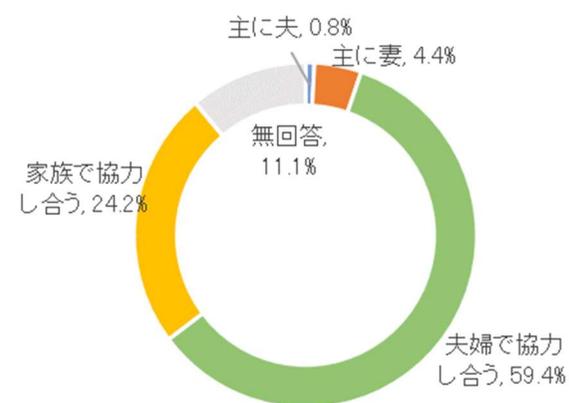
○ 年代による比較



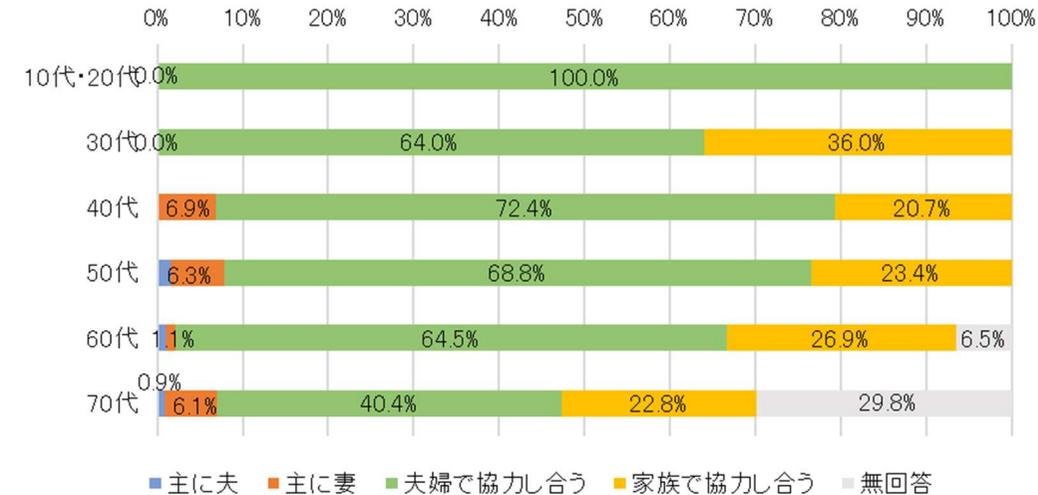
設問 3-b

⑪ 授業参観などの学校行事

項目	回答数
主に夫	3
主に妻	16
夫婦で協力し合う	214
家族で協力し合う	87
無回答	40
合計	360



○ 年代による比較

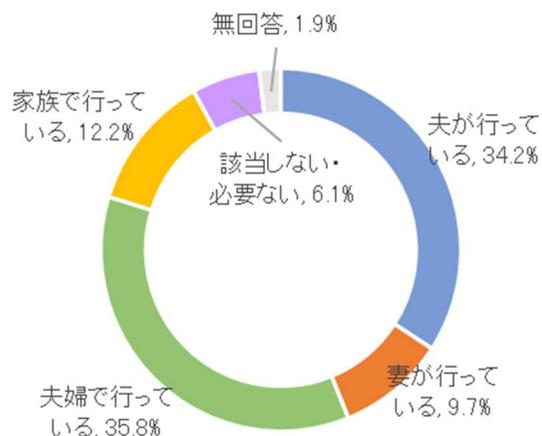


- 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」が 59.4% を占め、他の項目を大きく上回っています。
- 設問 3-a (実際の家事分担) では、「夫が行っている」の割合が 1.7% に対し、「妻が行っている」の割合が 23.1% となっています。

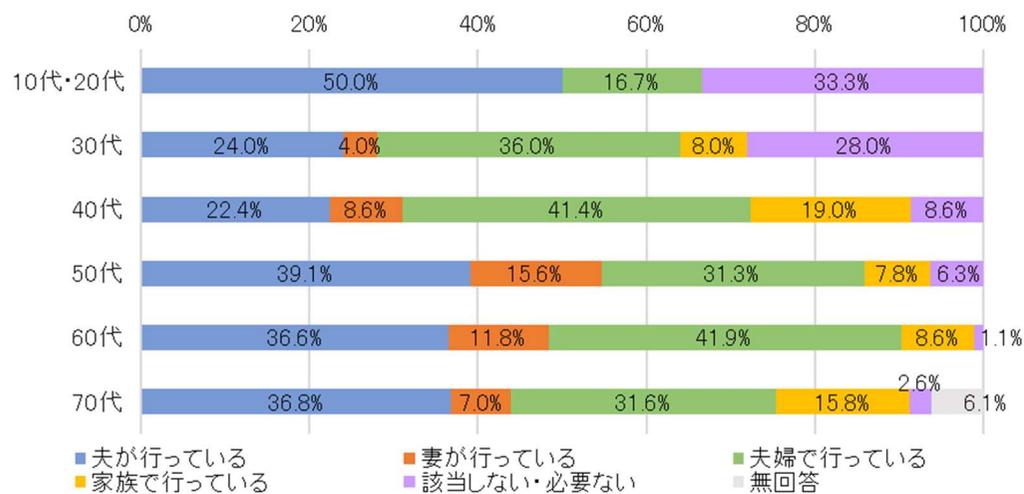
設問 3-a

⑫ 地域活動

項目	回答数
夫が行っている	123
妻が行っている	35
夫婦で行っている	129
家族で行っている	44
該当しない・必要ない	22
無回答	7
合計	360



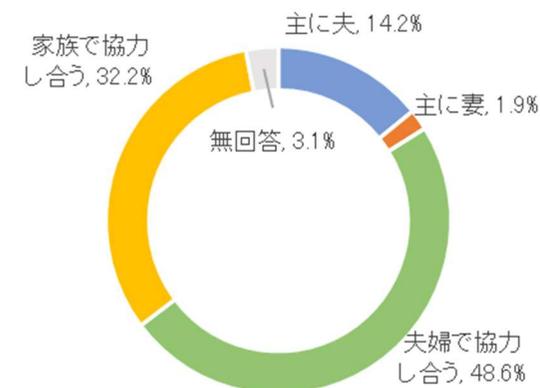
○ 年代による比較



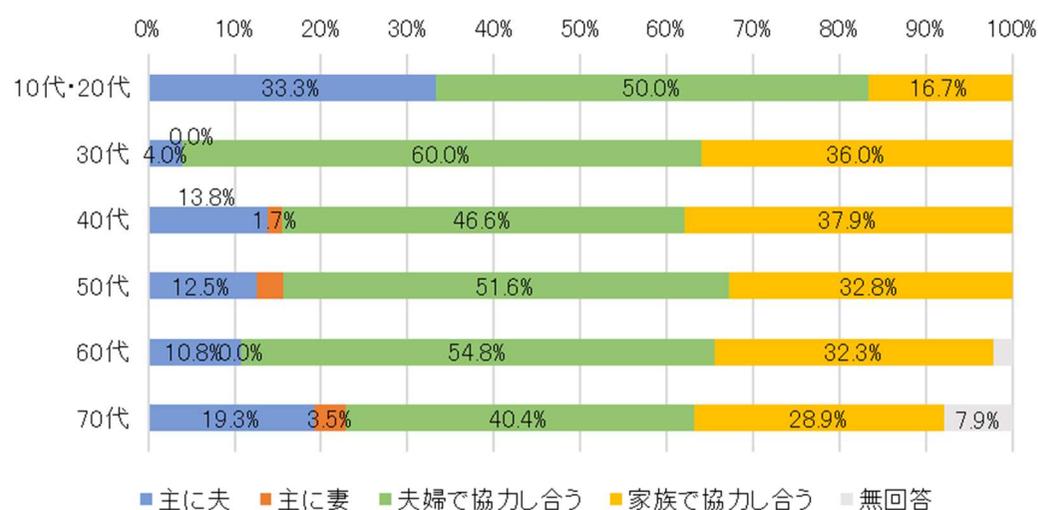
設問 3-b

⑫ 地域活動

項目	回答数
主に夫	51
主に妻	7
夫婦で協力し合う	175
家族で協力し合う	116
無回答	11
合計	360



○ 年代による比較



- 設問 3-b (家事分担の理想) では、「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」の割合の合計が8割を超えています。
- 設問 3-a (実際の家事分担) では、「妻が行っている」の割合が9.7%に対し、「夫が行っている」の割合が34.2%となっています。

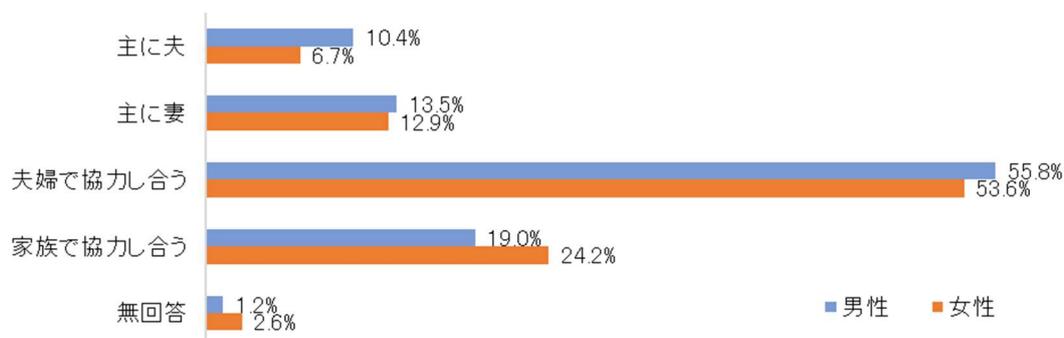
※ 男女別集計 配偶者・パートナーと同居している 360人
 男性：163人、女性：194人、その他：2人、答えたくない：1人

設問3-b

家庭での役割分担の理想について、次のようなことはどのような形が望ましいと思いますか。(1つ選択)

① 家計全体のやりくり

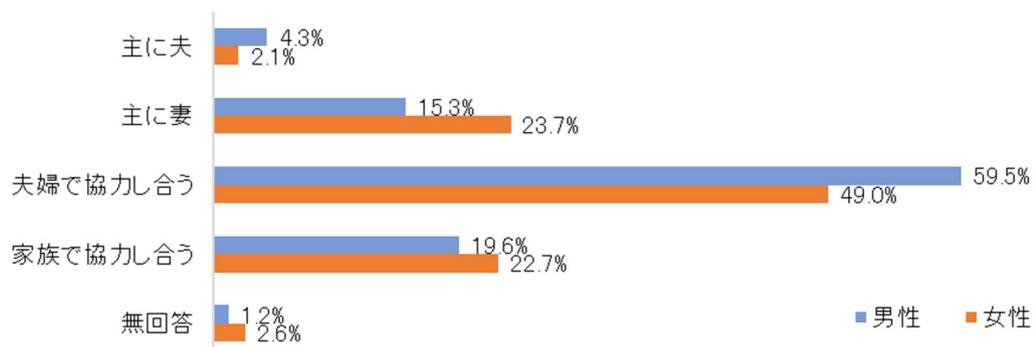
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	17	10.4%	13	6.7%
主に妻	22	13.5%	25	12.9%
夫婦で協力し合う	91	55.8%	104	53.6%
家族で協力し合う	31	19.0%	47	24.2%
無回答	2	1.2%	5	2.6%
全体	163	100.0%	194	100.0%



○ 男性、女性とも、同じような割合になっています。

② 日常の買い物

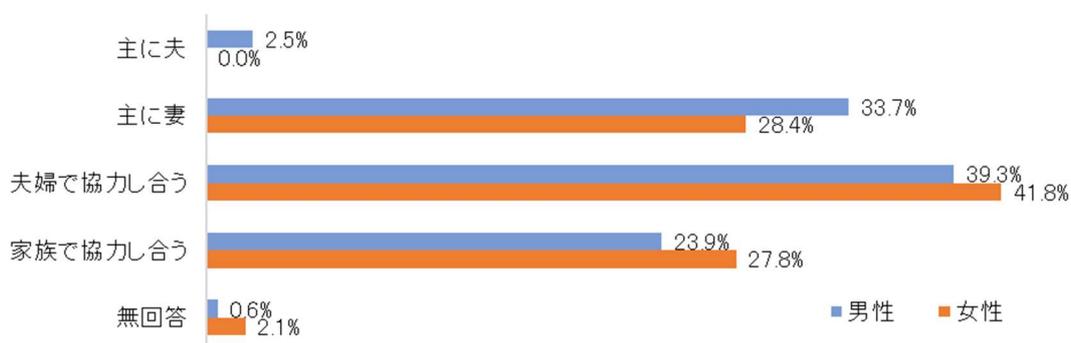
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	7	4.3%	4	2.1%
主に妻	25	15.3%	46	23.7%
夫婦で協力し合う	97	59.5%	95	49.0%
家族で協力し合う	32	19.6%	44	22.7%
無回答	2	1.2%	5	2.6%
全体	163	100.0%	194	100.0%



- 男性は女性よりも「夫婦で協力し合う」の割合が高く、女性は男性よりも「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

③ 食事の支度

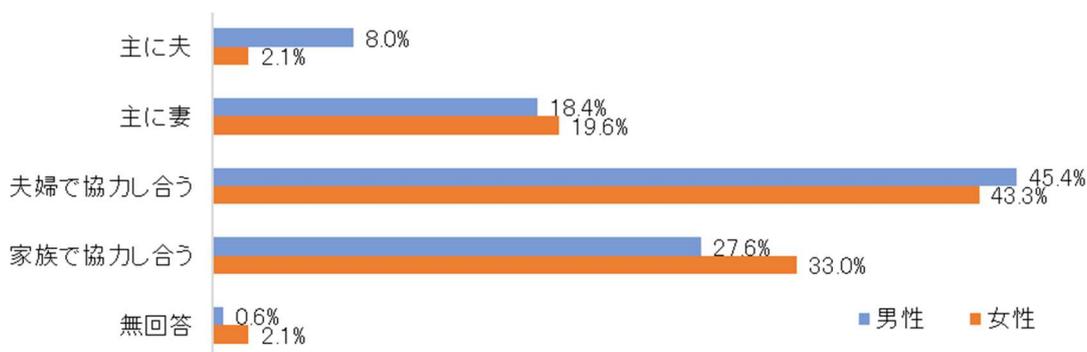
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	4	2.5%	0	0.0%
主に妻	55	33.7%	55	28.4%
夫婦で協力し合う	64	39.3%	81	41.8%
家族で協力し合う	39	23.9%	54	27.8%
無回答	1	0.6%	4	2.1%
全体	163	100.0%	194	100.0%



- 女性は男性よりも「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

④ 食事の後片付け

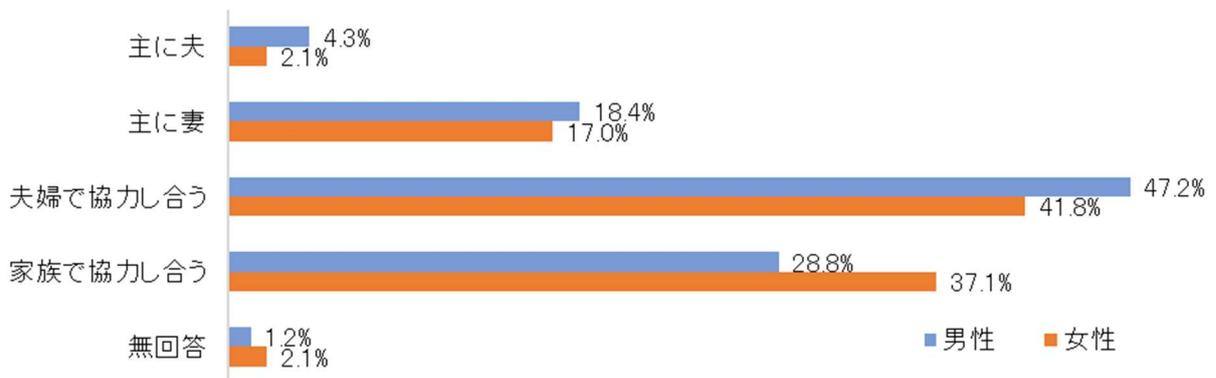
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	13	8.0%	4	2.1%
主に妻	30	18.4%	38	19.6%
夫婦で協力し合う	74	45.4%	84	43.3%
家族で協力し合う	45	27.6%	64	33.0%
無回答	1	0.6%	4	2.1%
全体	163	100.0%	194	100.0%



- 男性は女性よりも「夫婦で協力し合う」の割合が高く、女性は男性よりも「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

⑤ 掃除

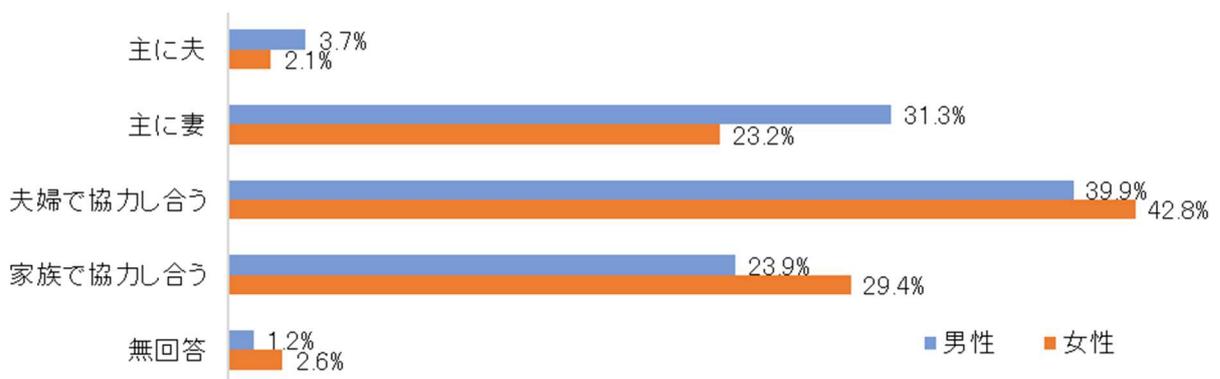
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	7	4.3%	4	2.1%
主に妻	30	18.4%	33	17.0%
夫婦で協力し合う	77	47.2%	81	41.8%
家族で協力し合う	47	28.8%	72	37.1%
無回答	2	1.2%	4	2.1%
全体	163	100.0%	194	100.0%



○ 男性は女性よりも「夫婦で協力し合う」の割合が高く、女性は男性よりも「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

⑥ 洗濯

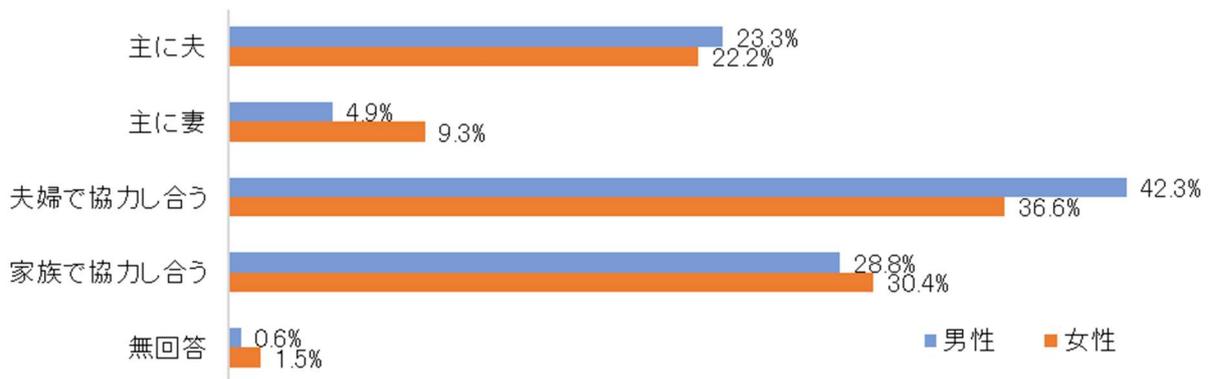
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	6	3.7%	4	2.1%
主に妻	51	31.3%	45	23.2%
夫婦で協力し合う	65	39.9%	83	42.8%
家族で協力し合う	39	23.9%	57	29.4%
無回答	2	1.2%	5	2.6%
全体	163	100.0%	194	100.0%



○ 男性は女性よりも「夫婦で協力し合う」の割合が高く、女性は男性よりも「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

⑦ ごみ出し

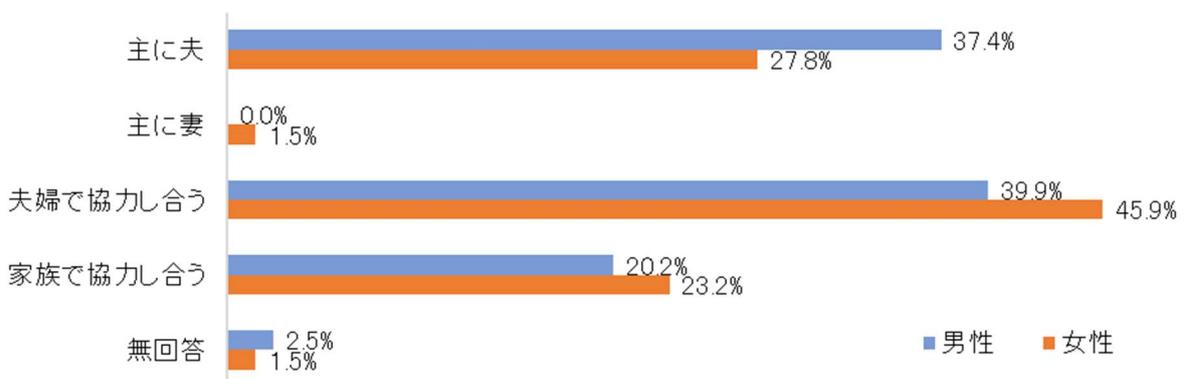
項 目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	38	23.3%	43	22.2%
主に妻	8	4.9%	18	9.3%
夫婦で協力し合う	69	42.3%	71	36.6%
家族で協力し合う	47	28.8%	59	30.4%
無回答	1	0.6%	3	1.5%
全 体	163	100.0%	194	100.0%



○ 「夫婦で協力し合う」以外では、男性は「主に夫」の割合が高く、女性は「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

⑧ 住宅や自家用車などの維持管理

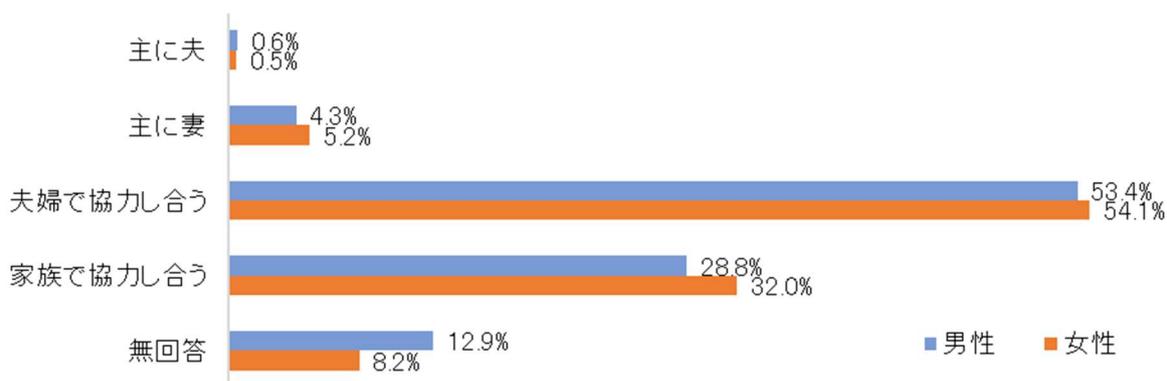
項 目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	61	37.4%	54	27.8%
主に妻	0	0.0%	3	1.5%
夫婦で協力し合う	65	39.9%	89	45.9%
家族で協力し合う	33	20.2%	45	23.2%
無回答	4	2.5%	3	1.5%
全 体	163	100.0%	194	100.0%



○ 「夫婦で協力し合う」以外では、男性は「主に夫」の割合が高く、女性は「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

⑨ 子どもの世話・教育

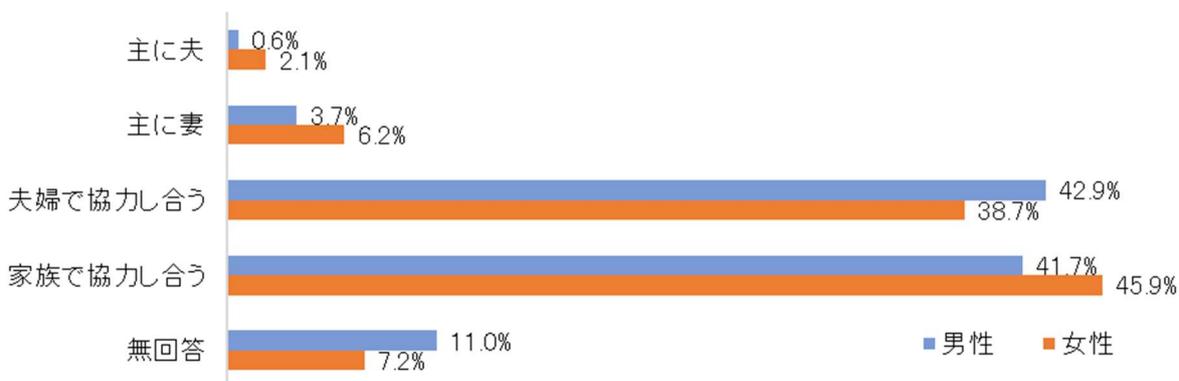
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	1	0.6%	1	0.5%
主に妻	7	4.3%	10	5.2%
夫婦で協力し合う	87	53.4%	105	54.1%
家族で協力し合う	47	28.8%	62	32.0%
無回答	21	12.9%	16	8.2%
全体	163	100.0%	194	100.0%



○ 男女とも、「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」を合わせた割合が8割を超えています。

⑩ 病人の世話や高齢者などの介護

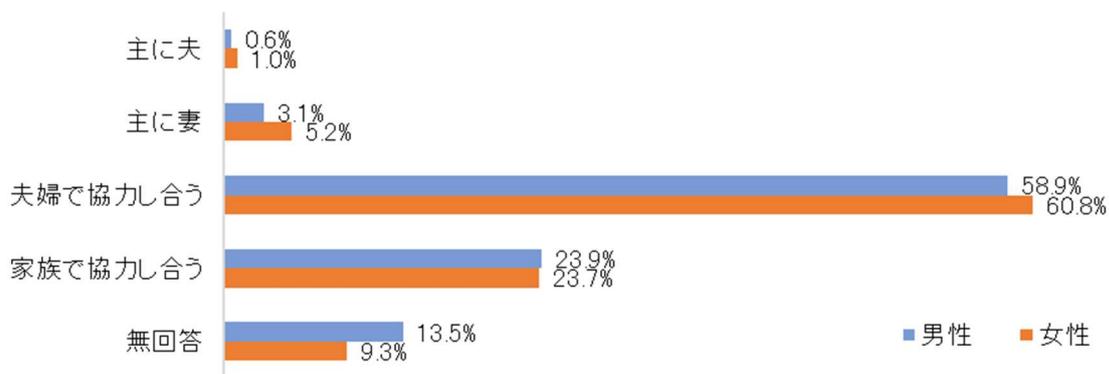
項目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	1	0.6%	4	2.1%
主に妻	6	3.7%	12	6.2%
夫婦で協力し合う	70	42.9%	75	38.7%
家族で協力し合う	68	41.7%	89	45.9%
無回答	18	11.0%	14	7.2%
全体	163	100.0%	194	100.0%



○ 男性は女性よりも「夫婦で協力し合う」の割合が高く、女性は男性よりも「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

⑪ 授業参観などの学校行事

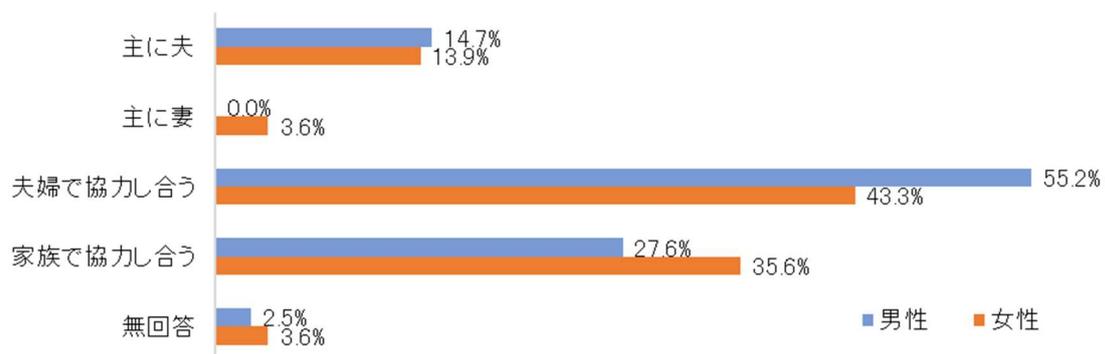
項 目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	1	0.6%	2	1.0%
主に妻	5	3.1%	10	5.2%
夫婦で協力し合う	96	58.9%	118	60.8%
家族で協力し合う	39	23.9%	46	23.7%
無回答	22	13.5%	18	9.3%
全 体	163	100.0%	194	100.0%



○ 男女とも、「夫婦で協力し合う」「家族で協力し合う」を合わせた割合が8割を超えています。

⑫ 地域活動

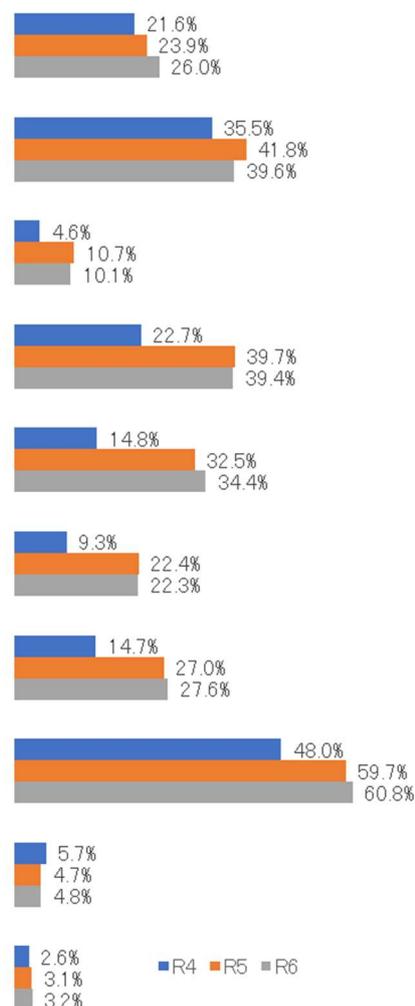
項 目	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
主に夫	24	14.7%	27	13.9%
主に妻	0	0.0%	7	3.6%
夫婦で協力し合う	90	55.2%	84	43.3%
家族で協力し合う	45	27.6%	69	35.6%
無回答	4	2.5%	7	3.6%
全 体	163	100.0%	194	100.0%



○ 男性は女性よりも「夫婦で協力し合う」の割合が高く、女性は男性よりも「家族で協力し合う」の割合が高くなっています。

設問4 あなたは、「男女共同参画社会」を築いていくために、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで選択）

選択肢	回答数	割合
男女同等に知識や技術などを取得する	131	26.0%
法律や制度、意識の面での見直しを行い、男女差別につながる社会環境を改める	199	39.6%
男女共同参画に関する情報提供や相談窓口の充実を図る	51	10.1%
子どもの時から男女平等教育を徹底させる	198	39.4%
働く場での男女格差をなくすよう、企業などへ意識啓発を行う	173	34.4%
政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する	112	22.3%
企業や行政が仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を積極的に進める	139	27.6%
男女が共に働きながら、家事や子育て・介護などを両立できるような支援・サービスを充実させる	306	60.8%
広報紙などで男女平等や相互理解・協力についてPRする	24	4.8%
その他	16	3.2%



n=503

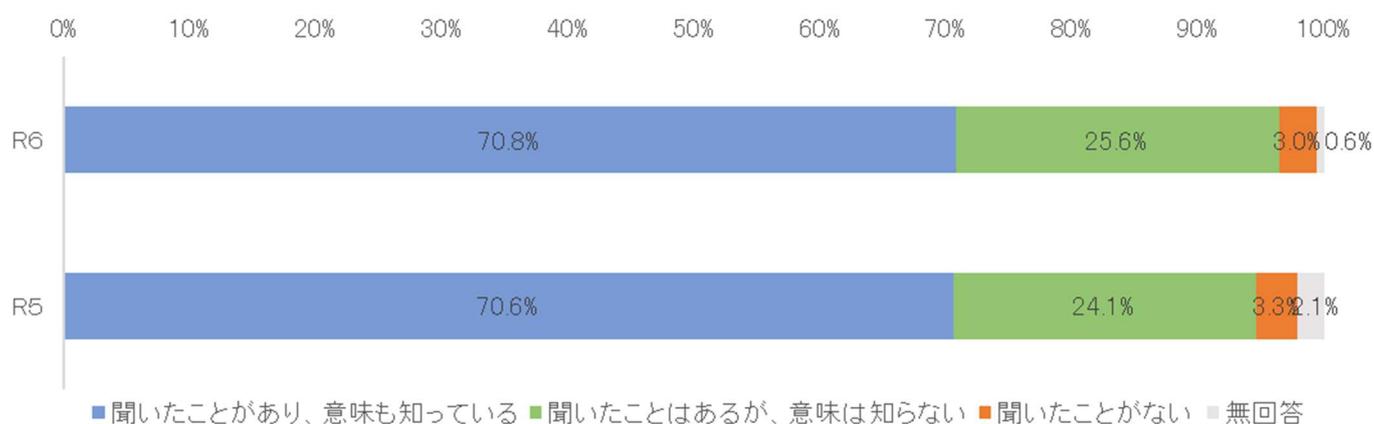
❖ その他の内容（抜粋）

- ・ 家庭での意識改革が必要
- ・ 企業や行政に何かを求めることより、個人が政治や経済、自分の生活について考え続け、身近な人たちと話し合っ、できることから始める。
- ・ 男女共同参画という概念自体を見直すべき。それ自体が男女を意識している。男だから、女の子だから、ではなく、それぞれの得意不得意に合わせて動ければそれで良い。
- ・ 互いに尊重し思い合う気持ちが重要

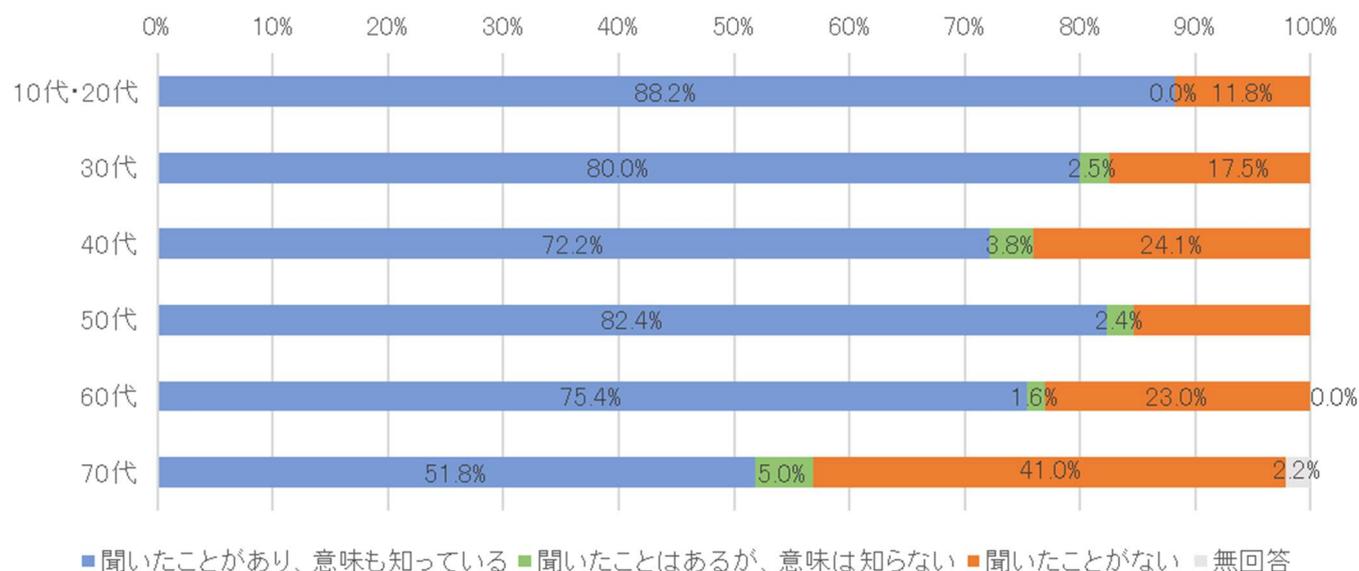
○ 回答数の上位3つは令和4年・5年の調査と同じ傾向となっており、「男女が共に働きながら、家事や子育て・介護などを両立できるような支援・サービスを充実させる」が最も多く、次いで、「法律や制度、意識の面での見直しを行い、男女差別につながる社会環境を改める」「子どもの時から男女平等教育を徹底させる」となっています。

設問5 LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）、性的マイノリティ（同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人、性同一性障害の人など）に関することについてうかがいます。近年、多様な性への無理解が社会的に課題となっており、多様な性への理解と配慮が求められております。「LGBT」「性的マイノリティ」という用語について、あてはまるものをお選びください。（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
聞いたことがあります、意味も知っている	356	70.8%
聞いたことはあるが、意味は知らない	129	25.6%
聞いたことがない	15	3.0%
無回答	3	0.6%
計	503	100%



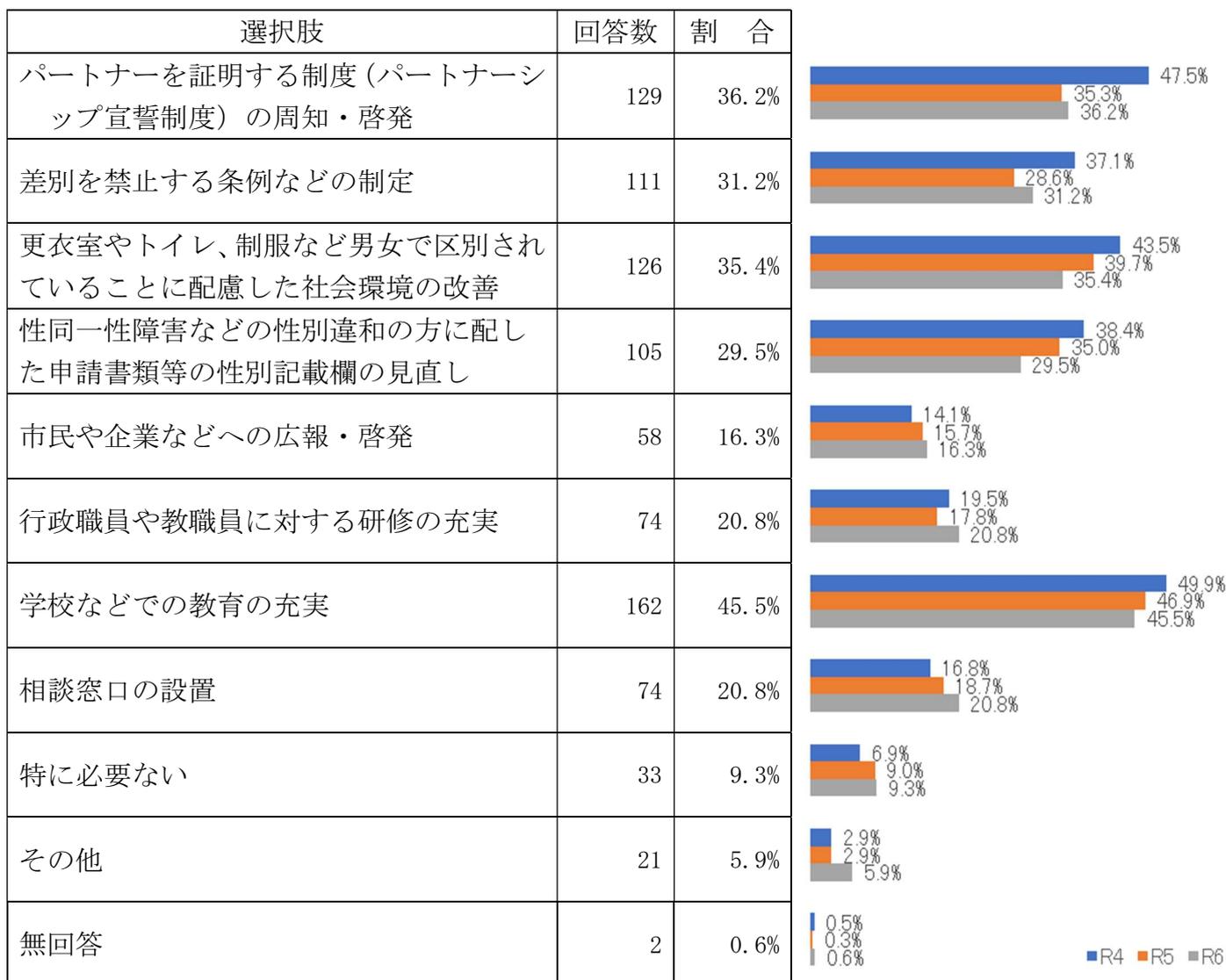
○ 年代による比較



○ 「聞いたことがあります、意味も知っている」の割合が70.8%であり、前回調査70.6%と同水準となっています。

○ 年代別では、70代で「聞いたことがない」の割合が4割を超えています。

設問6 設問5で「1. 聞いたことがあり、意味も知っている」と答えた方にお聞きします。今後、多様な性への理解を進めるために何が必要だと思いますか。（あてはまるもの3つまで選択）



n = 356

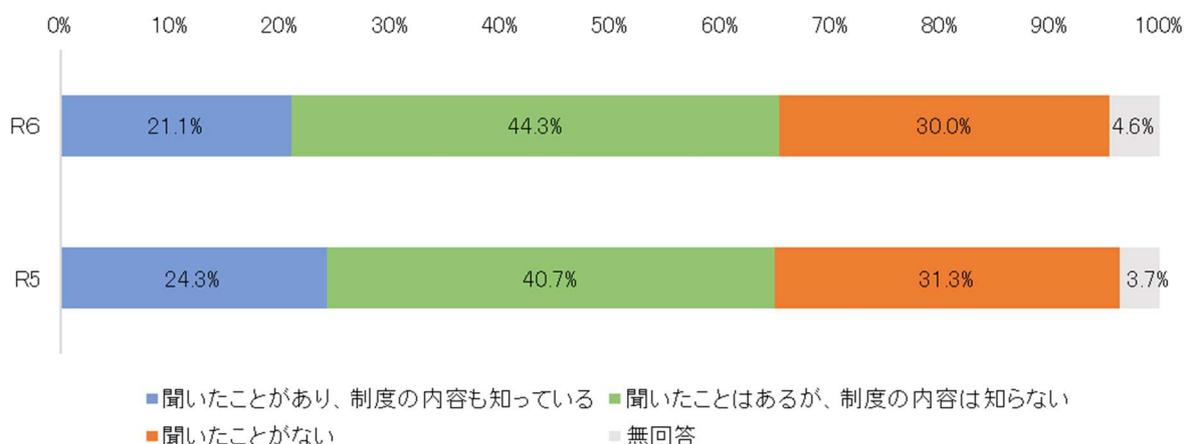
❖ その他の内容（抜粋）

- ・ ジェンダーは社会的性区分であり、教育を含めた社会規範の整備を進めること。
- ・ 当事者との対話。本当に必要と思っていることは、人それぞれに違うはず。
- ・ 排除すべきではないが少数の方を特別扱いしなくてよいと思う、特別な窓口を作ったり専任の係を作らず普通の窓口で普通に申請していただいてよいと思う。
- ・ まだまだ理解は難しい。何でも認めてしまうと普通に生活している人たちが苦しい思いするのかもしれないと思う。

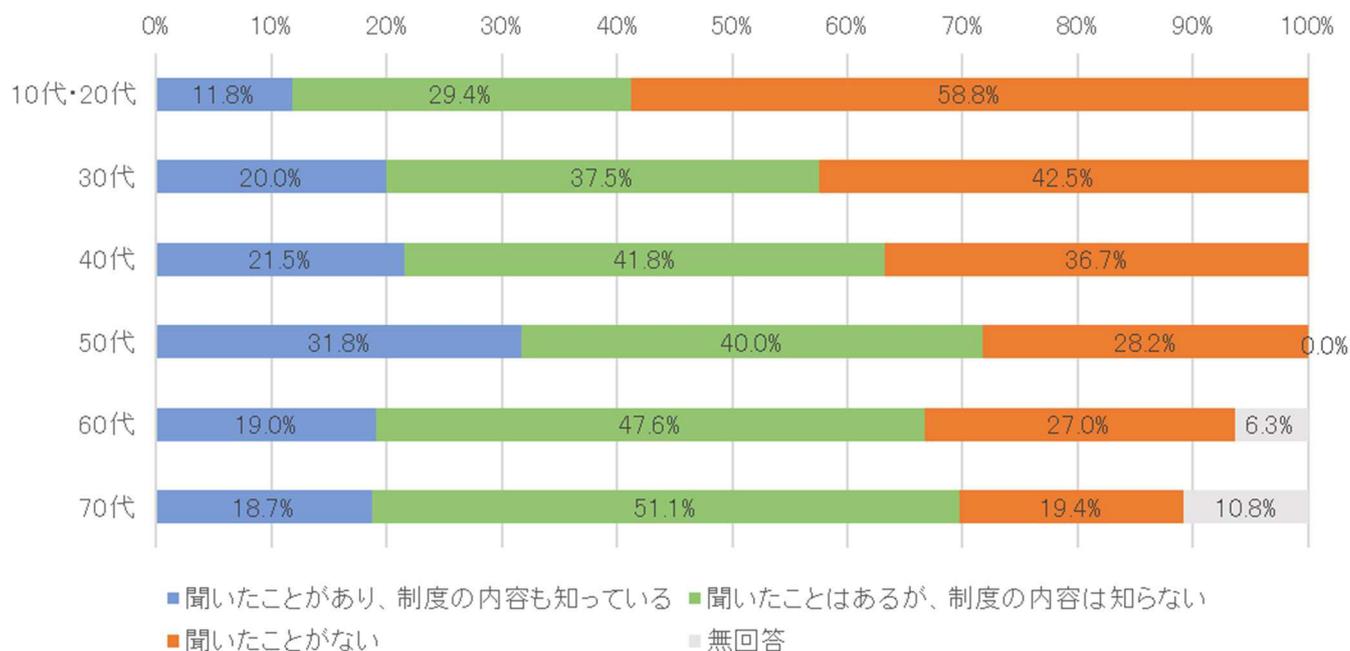
○ 前回調査と同じ傾向となっており、「学校などでの教育の充実」が最も多く、次いで「パートナーを証明する制度の周知・啓発」「更衣室やトイレ、制服など男女で区別されていることに配慮した社会環境の改善」が続いています。

設問7 一関市が令和4年12月に導入した「いちのせきパートナーシップ宣誓制度」について、
あてはまるものをお選びください。

選択肢	回答数	割合
聞いたことがあります、制度の内容も知っている	106	21.1%
聞いたことはあるが、制度の内容は知らない	223	44.3%
聞いたことがない	151	30.0%
無回答	23	4.6%
計	503	100%



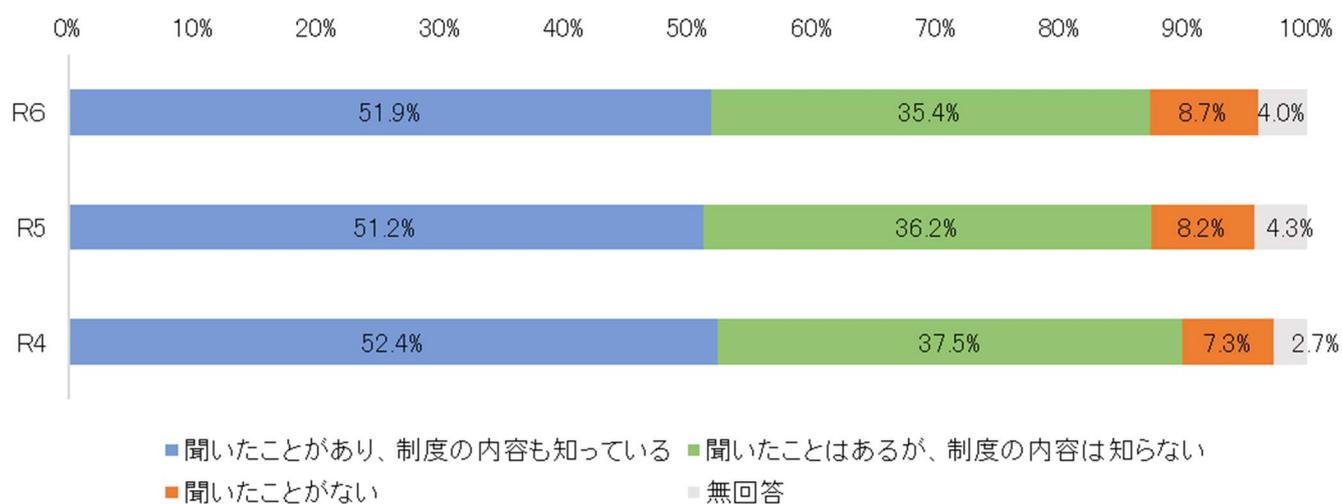
○ 年代による比較



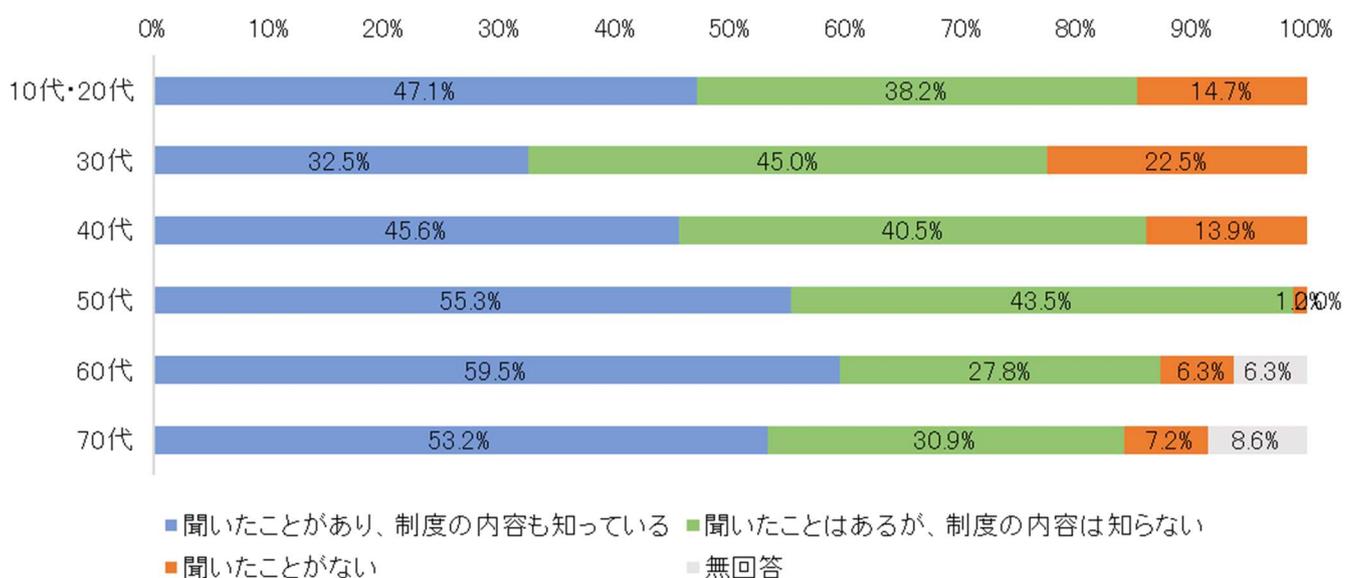
- 「聞いたことがあります、制度の内容も知っている」の割合が21.1%に対し、「聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が44.3%と高くなっています。
- 10代・20代、30代で、「聞いたことがない」の割合が高くなっています。

設問8 「配偶者暴力防止法」「DV防止法」（配偶者からの暴力及び被害者の保護に関する法律）について、あてはまるものをお選びください。

選択肢	回答数	割合
聞いたことがあります、内容も知っている	261	51.9%
聞いたことはあるが、内容は知らない	178	35.4%
聞いたことがない	44	8.7%
無回答	20	4.0%
計	503	100%



○ 年代による比較

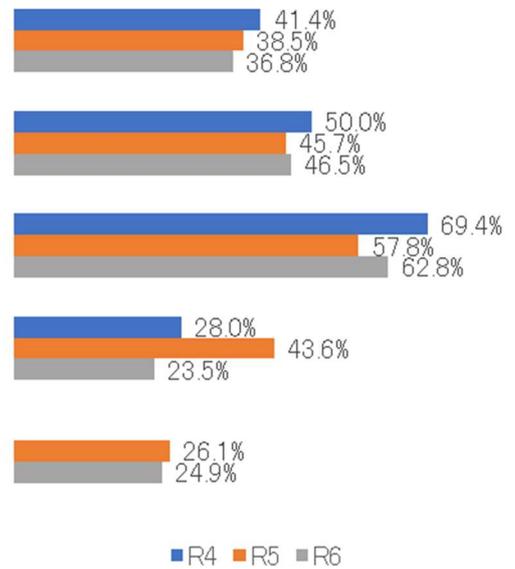


○ 「聞いたことがあります、意味も知っている」の割合が51.9%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」の割合が35.4%であり、DV防止法の名称または内容を知っている人の割合は、87.3%となっています。

○ 10代・20代、30代、40代で、「聞いたことがない」の割合が高くなっています。

設問9 DV（ドメスティック・バイオレンス：配偶者やパートナーに対する身体的・心理的・経済的・性的暴力、社会的隔離）を防止するためにどのような支援があるか、知っているものをお選びください。（あてはまるものすべて選択）

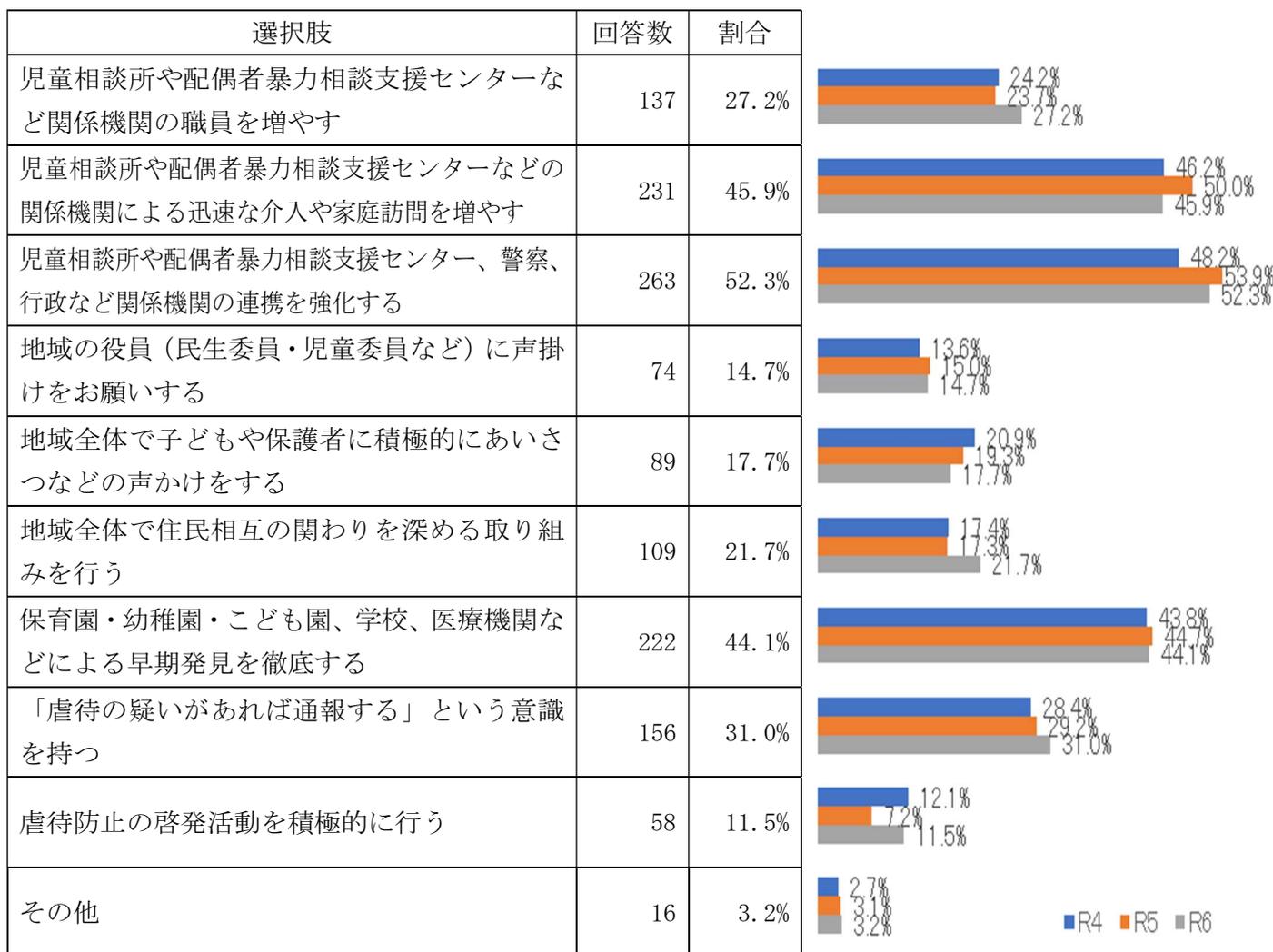
選択肢	回答数	割合
被害者支援の関連法律（配偶者暴力防止法）がある	185	36.8%
人権相談窓口がある	234	46.5%
警察で相談、保護を行っている	316	62.8%
配偶者暴力相談支援センターがある	118	23.5%
どのような支援があるか知らない※1	125	24.9%



※1 R5年度からの質問 n=503

○ 前回調査と同じ傾向となっており、「警察で相談保護を行っている」が最も多く、次いで、「人権相談窓口がある。」がつづいています。

設問 10 児童虐待を防止するために、どのような取り組みを進めることが必要だと思いますか。特に重要だと思うものをお選びください。(あてはまるもの3つまで選択)



n = 503

○ 前回調査と同じ傾向となっており、「児童相談所や配偶者暴力相談支援センター、警察、行政など関係機関の連携を強化する」「児童相談所や配偶者暴力相談支援センターなどの関係機関による迅速な介入や家庭訪問を増やす」「保育園・幼稚園・こども園、学校、医療機関などによる早期発見を徹底する」が多くなっています。